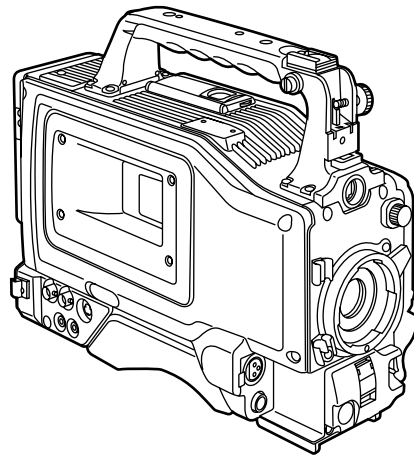


DV_{NTSC} 業務用 デジタルビデオ カメラレコーダ

品番 AG-DVC200

取扱説明書

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
そのあと大切に保管し、わからないときは再読してください。



保証書別添付

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、お受け取りください。

製造番号は、品質管理上重要なものです。お買い上げの際は、製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

本機で使用できるカセットはカセットは
DV マークの付いたデジタルビデオカセットテープです。

著作権 (録画テープの取り扱い)

あなたがビデオで録画したテープは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用はできません。

——上手に使って、上手に節電——

ご使用後は、忘れずに電源スイッチを切ってください。

ご不要になったニカド電池は リサイクルへ



本製品にはニカド電池を使用しております。
ご不要になったニカド電池は、貴重な資源を
守るために廃棄しないでリサイクルにご協力
ください。

電池仕様

ブランド	Panasonic
型番	AU-BP402
名称	充電式ニカド電池
電圧	12 V
容量	4.4 Ah

リサイクルに関するお問い合わせ先は、裏表紙をご参照ください。

次の点にご留意ください

- 大切な録画（結婚式など）の場合は、必ず事前に試し撮りし、正常に録画・録音されていることを確認してください。
- ビデオカメラ、本機およびテープの使用上、万一これらの不具合により録画されなかった場合の録画内容の保証については、ご容赦ください。

* 本機は、標準サイズ DV テープ専用のカメラレコーダーです。
DVCPRO テープや、他のサイズのテープはご使用にならないでください。

目次

安全上のご注意	4	シーンファイル	27
概要	8	シーンファイル機能	27
特長	8	シーンファイルの設定方法	27
カメラ部の特長	8	シーンファイル名の編集(例: USER ファイル)	27
VTR 部の特長	8	シーンファイル名をデフォルトに戻す	28
システム構成	9	ファイルセレクトの使い方	28
各部の名称と機能	10	シーンファイルの設定一覧	29
準備	14	ファイルの設定一覧	29
Panasonic 社製バッテリーパック		通常の収録	30
AU-BP402/AJ-BP490 をご使用の場合	14	記録の方法	30
Anton 社製バッテリーパックを		つなぎ撮り	30
ご使用の場合	15	音声の記録	31
SONY 社製バッテリーパック NP-1B を		音声入力信号の選択	31
ご使用の場合	15	録音レベルの調整	31
AC 電源の使用		記録時の音声モニター	31
(AC アダプタ AJ-B75 を使用した場合)	16	再生(記録内容のチェック)	32
レンズの取り付け	16	レックレビュー	32
三脚への取り付け	17	その他の機能	32
三脚アタッチメントから取り外す	17	静止画再生	32
ビューファインダー・マイクの取り付け	17	INTERVAL REC (間欠記録) 機能	32
ショルダーベルト (別売) の取り付け	17	変速 (FF/REW) 再生	32
カメラ ID の設定	18	INDEX SEARCH モード	32
日付と時刻の設定	18	外部機器と使う	33
レンズの調整と確認	19	DV 端子付きビデオ機器とつなく	33
フランジバック調整	19	ノンリニア編集可能なパソコンとつなく	33
ホワイトシェーディングの確認	19	メニュー操作	34
ホワイトシェーディング調整	19	メニューの表示/非表示	34
ビューファインダー表示	20	サブメニューを表示し、設定値を決める	34
ビューファインダーのランプ表示	20	設定メニューの構成	35
ビューファインダー画面の状態表示	20	メニュー内容	36
ビューファインダー画面の表示選択	23	SCENE メニュー (メインメニュー)	36
ホワイトバランス / ブラックバランスの調整	24	MAIN 1/2 メニュー (メインメニュー)	37
ホワイトバランスの自動調整	24	MAIN 2/2 メニュー (メインメニュー)	39
ブラックバランスの自動調整	24	警告システム	42
電子シャッターの設定	25	EMERGENCY イジェクト	43
シャッターモードについて	25	メンテナンス	44
シャッターモード / スピードの設定	25	結露	44
シンクロスキャンモードの設定	25	バックアップ電池の交換	44
タイムデータの設定	26	ヘッドクリーニング	44
ユーザーズビットの設定	26	ビューファインダー内のクリーニング	44
タイムコードの設定	26	CCD カメラ特有の現象について	44
		エラーコード	44
		アフターサービス	45
		定格	46

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は、絵表示の一例です。)



このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

設置/運搬について



警告

付属品・オプションは、
指定の製品を使用する！



本体に誤って指定外の製品を使用すると、火災や事故を起こすおそれがあります。

不安定な場所に置かない！



落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。








禁止

安全上のご注意

必ずお守りください




使用方法について

警告

<p>水場で使用しない！</p> <p> 火災・感電の原因となります。</p> <p>水場使用禁止</p>	<p>表示された電源電圧以外は使用しない！</p> <p> 火災・感電のおそれがあります。</p> <p>禁止</p>	<p>電源コード・電源プラグが破損するようなことはしない！</p> <p>傷つけたり、加工したり、高温部に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない！</p> <p> 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。</p> <p>禁止</p> <ul style="list-style-type: none">●コードやプラグの修理は、お買い上げの販売店に、ご相談ください。
<p>機器が濡れたり、水が入らないようにする！</p> <p> 火災・感電のおそれがあります。</p> <p>禁止</p> <p>雨天・降雪・海岸・水辺での使用は、特にご注意ください。</p>	<p>指定のカバー以外は、外さない！</p> <p> 感電の原因となります。</p> <p>分解禁止</p> <ul style="list-style-type: none">●点検・整備・修理は、お買い上げの販売店に、ご相談ください。	
<p>本機を改造しない！</p> <p> 火災・感電の原因となります。</p> <p>分解禁止</p>	<p>機器の開口部から異物を差し込んだり、落とし込んだりしない！</p> <p> 火災・感電のおそれがあります。</p> <p>禁止</p>	

異常時の処理について

警告

<p>本機を落としたり、破損した場合は、電源スイッチを切り、バッテリーを外す！</p> <p> そのまま使用すると、火災・感電を起こすおそれがあります。</p> <ul style="list-style-type: none">●お買い上げの販売店に、ご相談ください。	<p>本機の内部に異物が入った場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！</p> <p> そのまま使用すると、火災・感電を起こすおそれがあります。</p> <p>電源プラグを抜く</p> <ul style="list-style-type: none">●お買い上げの販売店に、ご相談ください。	<p>煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態の場合は、電源スイッチを切り、バッテリーを外す！</p> <p> 火災・感電の原因となります。</p> <ul style="list-style-type: none">●お買い上げの販売店に、修理をご依頼ください。
--	---	---

安全上のご注意

必ずお守りください

乾電池/バッテリー について

警告

乾電池/バッテリーを分解・加熱しない！
火中・水中に投げ入れない！



ショートや破裂、液漏れなどを起こし、
けが・やけどをする
おそれがあります。

禁止

乾電池/バッテリーは、
極性(+ , -)を正しく
つなく！



間違えると、乾電池
の破裂、液漏れによ
り、火災・けが、周
囲の汚染原因とな
ります。

■機器使用の乾電池/バッ
テリーを、お子さまの手
の届く所に置かない！



電池は、お子さまの
手の届かないところ
に置く。
●万一、飲み込んだ場
合は、医師に相談し
てください。

禁止

設置について

注意

電源コードを熱器具に近
づけない！



火災・感電の原因と
なることがあります。

禁止

湿気やほこりの多い場所
に置かない！



火災・感電の原因と
なることがあります。

禁止

本機の通風孔をふさがな
い！



通風孔をふさぐと内
部に熱がこもり、火
災の原因となること
があります。
次のような使い方は、
しないでください。
●本機を風通しの悪い
所に押し込む。
●テーブルクロスを掛
けたり、じゅうたん
や布団の上に置く。

禁止

ぬれた手でコネクターを
抜き差ししない！



感電の原因とな
ることがあります。

禁止

コードやショルダール
ベルトを下にたらない！



ふれたり、引っかけ
たりすると、落ちて
けがをするおそれ
があります。

禁止

コネクターを抜くとき
は、コードを引っ張ら
ない！



コードが傷つき、火
災・感電の原因とな
ることがあります。
●必ずコネクターを持
って抜いてくださ
い。

禁止

安全上のご注意

必ずお守りください

使用方法について

⚠ 注意

<p>本機の上に重い物を置かない！</p> <p> バランスがくずれて、落下し、けがの原因となります。</p> <p>禁止</p>	<p>本機に乗らない！</p> <p> 倒れたり、壊れたりし、けがの原因になります。</p> <p>禁止</p>	<p>雷が鳴り始めたら使うのをやめる！</p> <p> 落雷すると、感電死につながります。</p>
<p>使用時は安定した場所と十分な体勢を確保する！</p> <p> けがや死亡につながります。</p>	<p>不安定な場所で三脚を使わない！</p> <p> 足などの上に倒れると、けがをするおそれがあります。</p> <p>禁止</p> <ul style="list-style-type: none">●足などを引っかけないようにご注意ください。	<p>専用 AC アダプター以外は、使用しない！</p> <p> 定格外の AC アダプターを使用すると、火災の原因となることがあります。</p> <p>禁止</p>
<p>カセットテープ挿入口に、手をはさまれないように注意する！</p> <p> けがの原因となります。</p> <p>指に注意</p>	<p>移動させる場合は、電源スイッチを切り、プラグを抜き、外部の接続コードを外す！</p> <p> コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。</p> <p>電源プラグを抜く</p>	<p>運転中・歩行中はファインダーの再生画をのぞいたり、操作全般をしない！</p> <p> 事故誘発のおそれがあります。</p> <p>禁止</p>
<p>長時間使用しないときは、安全のためバッテリーを外す！</p> <p> 火災の原因となることがあります。</p>	<p>お手入れの際は安全のため、電源スイッチを切り、バッテリーを外す！</p> <p> 火災・感電の原因となることがあります。</p>	<p>1年に1度ぐらいは、販売店に内部の掃除の相談を！</p> <p> 本機の内部にほこりがたまったら、使用し続けると、火災・故障の原因となる場合があります。</p>
<p>指定外のバッテリーは使用しない！</p> <p> バッテリーの破裂・液漏れにより、火災・けがの原因となるおそれがあります。</p> <p>禁止</p>		

概要

本機は、放送用機材で培われたデジタルカメラの技術と DVCPRO メカニズムの信頼性を兼ね備えた DV フォーマット初の標準カセットに対応したカメラ一体型 VTR です。

小型・軽量・低消費電力で長時間録画が可能です。しかもカメラ部、VTR 部ともにデジタル信号処理を採用しており、画質、安定性の一層の向上を図っています。

特長

カメラ部の特長

● 1/2 型 IT3CCD 搭載

高解像度約 800 本、最低被写体照度も 0.5 ルクスで低照度下の撮影にも強い、高感度の明るいカメラ映像を実現しています。

● デジタルプロセッシング採用

放送用で培われた本格的デジタルプロセス回路を採用。高性能、高機能、そして高い信頼性を実現しています。

● 交換レンズ方式

バヨネット方式採用で 1/2 型 FUJINON 製、CANON 製レンズが装着可能です。

● 4 枚構成の CC/ND フィルター標準装備

被写体の明るさ、および色温度に応じて最適なフィルターを選択できます。

● 撮影サポート機能

シーンファイルダイヤル搭載

撮影条件に応じて 6 つのシーンファイルの設定を簡単に選択できます。

ATW (オートトラッキングホワイト) 搭載

自動追尾式ホワイト機能を利用すると、異なる光源下にまたがる撮影時に便利です。

QUICK FOCUS 機能

アイリス、シャッターを自動制御し、フォーカス合わせを容易にするサポートを行います。

FULL AUTO 機能

カメラを設定する時間がないときなど、緊急撮影時に便利です。

AUTO IRIS モード選択機能

3 つのオートアイリス選択が可能です。撮影条件に応じて簡単に切り換えることができます。

メニュー JOG ダイヤル方式採用

カメラ全面に JOG ダイヤルボタンを装備し、メニュー設定が容易にできます。

VTR 部の特長

● DV フォーマット方式

映像は、最新の圧縮技術を採用したコンポーネントデジタル記録方式で圧縮し、音声は、S/N・周波数帯域・波形特性・微細部分の再現特性などに優れた非圧縮の PCM 記録を採用。一層の高画質化、高音質化を実現しています。

● 標準テープドライブ搭載

放送用で実績ある DVCPRO メカニズムを転用、高い信頼性を保持するとともに、最長 270 分の長時間撮影が可能です。

● 高いシステム性

DV 端子を標準装備しています。他の DV 機器、DV ノンリニアと接続が可能です。

Anton/Bauer 社製バッテリー他、各社バッテリーシステムに対応しています。

● その他

つなぎ撮り

VTR START ボタン、またはレンズの VTR ボタンを押すだけで、0 から +1 フレーム以内の精度でつなぎ撮りができます。

レックレビュー機能

記録した最後の約 2 ~ 10 秒間を、自動的に巻き戻して再生しますので、記録内容の確認を速やかに行うことができます。

タイムコードジェネレータ/リーダー内蔵

専用のサブコードトラックにタイムコード情報を記録し、再生することができます。

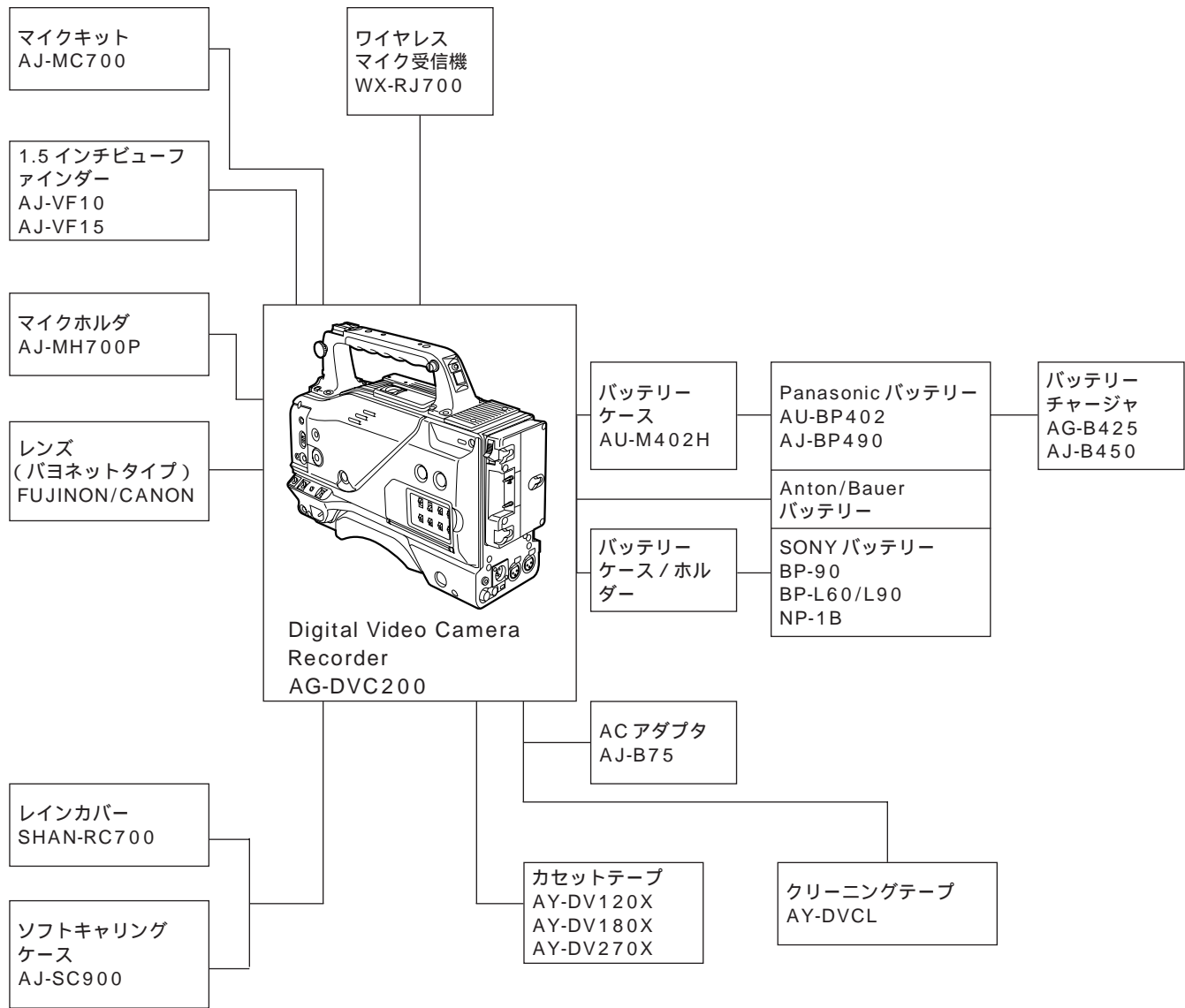
TIME STAMP 機能

カメラ映像に日付・時間を重畳して記録することが可能です。

INTERVAL REC 機能

簡易のインターバル撮影をすることが可能です。特に自然を題材にした番組や美術番組の撮影に効果を発揮します。

システム構成



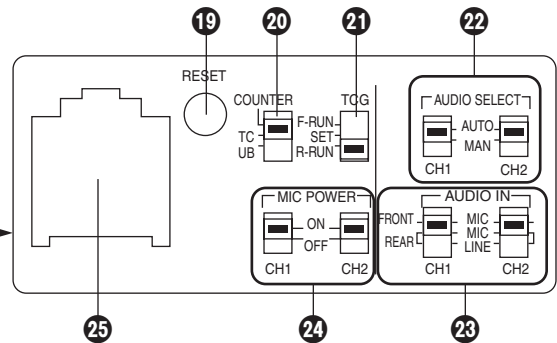
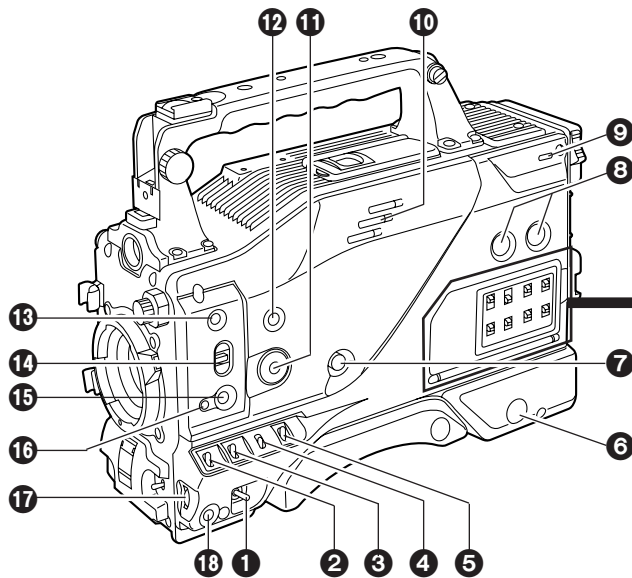
< ノート > レンズのシェーディング補正確認

本機はレンズのシェーディング補正機能を持っています。ご使用のレンズのタイプに応じて最適な補正であることを確認してください。詳しくは「レンズの調整と確認」(19ページ)を参照ください。

レンズシェーディング補正データの選択

レンズの分類	A	B	C	USER
レンズの種類	S18 × 6.7BERM4 S18 × 6.7BRM4 S19 × 6.5BERM4 S19 × 6.5BRM4 YH18 × 6.7IRS YH12 × 4.8IRS	YH18 × 6.7KRS/KP (AG-DVC200D用) YH14 × 7.3KRS YH12 × 4.8KRS S14 × 7.5BRM4 S17 × 6.6BRM4	S14 × 7.3BRM	A、B、C以外のレンズ

各部の名称と機能



- 1 POWER スイッチ**
電源を ON/OFF するスイッチです。
- 2 VTR STBY/SAVE (テープ保護) スイッチ**
VTR が記録を一時停止 (REC PAUSE) しているときの電源供給状態を切り替えます。
STBY: VTR START ボタンを押すと、すぐに録画が始まります。
SAVE: テープ保護モードです。ハーフローディング状態でシリンダーを停止させています。
STBY 時より電力消費も少なく、バッテリーでの動作時間も長くなります。
なお VTR START ボタンを押してから記録開始までは、STBY 時より時間がかかります。
この位置にすると、ビューファインダー内の VTR SAVE ランプが点灯します。
- < ノート >
STBY の状態で PAUSE TIMER 時間が経過すると、本機は自動的に SAVE 状態になります。詳しくは、サブメニュー画面 <VTR OPTION> (38 ページ) の内容を参照ください。
- 3 GAIN 切り替えスイッチ**
カメラの画面が暗いときに、このスイッチを切り替えてゲインを上げ、画面を明るくします。
各項目のゲインの選択はオンスクリーンで設定可能です。詳しくは、サブメニュー画面 <SW MODE> (37 ページ) の内容を参照してください。
L: 通常は、この位置にします。工場出荷時は 0dB に設定されています。
M: カメラ映像アンプのゲインを上げます。工場出荷時は 9dB に設定されています。
H: カメラ映像アンプのゲインを上げます。工場出荷時は 18dB に設定されています。

- 4 OUTPUT/AUTO KNEE 選択スイッチ**
カメラ部から VTR 部、ビューファインダー、ビデオモニターへ出力する映像信号の選択スイッチです。
CAM. AUTO KNEE ON :
カメラで撮影している映像が出力されます。
AUTO KNEE 回路が動作します。
CAM. AUTO KNEE OFF :
カメラで撮影している映像が出力されます。
MANUAL KNEE になります。
BARS :
カラーバー信号が出力されます。
AUTO KNEE 回路は動作しません。

AUTO KNEE 機能
高輝度の背景で人物や風景などにレベルを合わせて撮影すると、背景が白くつぶれ、背景にある建物や風景がぼやけてしまいます。このようなときに AUTO KNEE 機能を動作させると、背景がくっきりと再現できます。AUTO KNEE 機能は次のような場面の撮影に効果を発揮します。

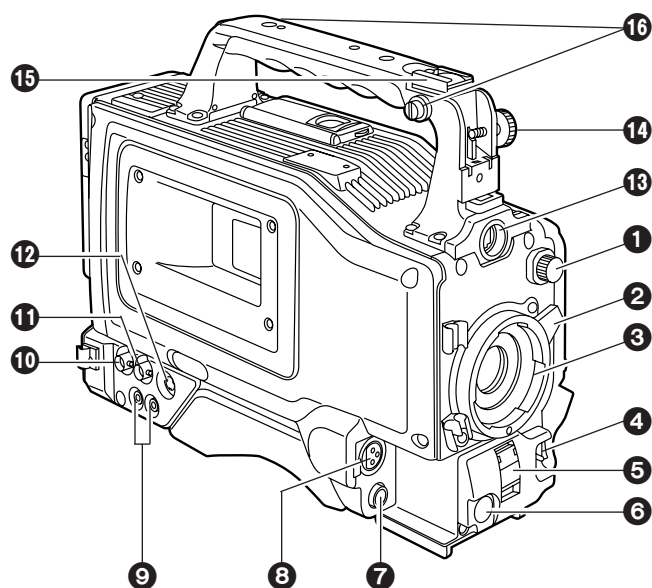
- ・晴天時に日陰の人物を撮るとき
- ・車内または屋内の人物と窓越しの屋外の風景を同時に撮影したいとき
- ・コントラストの強い場面を撮るとき

- 5 WHITE BAL (ホワイトバランスメモリー切り替え) スイッチ**
A または B :
前面の AUTO W/B (WHITE/BLACK) BAL スイッチを操作し、自動ホワイトバランス調整を実行したとき、その調整値が A または B に自動的に記憶されます。
PRST :
プリセットモードは、3200K に設定されています。
この位置では AUTO W/B BAL スイッチは動作しません。
- < ご参考 >
自動追尾方式のホワイトバランスモード (ATW) が A、B、PRST のいずれかに設定可能です。
詳しくは、サブメニュー画面 <SW MODE> (37 ページ) の内容を参照してください。

各部の名称と機能

- 6 BREAKER スイッチ**
何らかの異常で、本機内部に過大な電流が流れると、ブレーカーが動作して電源が自動的に切れ、機器を保護します。
本機内部の点検および修理を行った後、このボタンを押し込んでください。異常がなければ、再び電源が入ります。
- 7 MONITOR (音量調整) つまみ**
モニタースピーカーやイヤホンの音量を調節します。
- 8 AUDIO LEVEL CH1/CH2 (音声チャンネル 1/2 録音レベル調整) つまみ**
ビューファインダー内のレベルメーターを見ながら、CH1 および CH2 の録音レベルを調整します。
- 9 POWER/WARNING ランプ**
電源 ON 時、緑色が点灯し、インターバル録画時は緑色に点滅します。また、警告時には赤色に点灯または点滅し異常を知らせます。くわしくは、「警告システム」(42 ~ 43 ページ)を参照ください。
- 10 SPEAKER**
音声モニターできます。
PHONE 端子にイヤホンを接続すると、スピーカーの音声は自動的に切れます。
モニターできる音声は CH1、CH2 の混合音声です。
- 11 SCENE FILE ダイヤル**
撮影条件に合わせたカメラ設定を選択できます。くわしくは、「シーンファイルの設定方法」(27 ページ)を参照してください。
- 12 MODE CHECK ボタン**
カメラ側操作スイッチの設定状態を、ビューファインダーで確認することができます。
- 13 QUICK FOCUS ボタン**
被写体のフォーカシングをサポートします。
このボタンを押すと、約 10 秒間レンズの絞りを解放にします。
被写体深度を浅くし、フォーカスを合わせやすくします。
- 14 AUTO IRIS MODE 選択スイッチ**
レンズ絞りを自動調整で撮影するときに、撮影条件に応じた位置を選択します。
BACK. L : 逆光状態の被写体を明るく撮影するとき
STD : 通常の撮影時
SPOT. L : スポットライトが当たっている被写体を撮影するとき
- 15 FULL AUTO ボタン**
カメラ部の設定状態を確認する時間がないときなどにこのボタンを押します。
レンズの絞りとおホワイトバランスが自動調整されます。
- 16 FULL AUTO ランプ**
FULL AUTO 実行時に点灯します。
- 17 JOG ダイヤルボタン**
MENU ボタン **18** を ON にしているときに、各種メニューの選択や設定を行います。
シャッタースピードがシンクロスキャンモードのときは、簡単にシャッタースピードを細かく調整することができます。
- 18 MENU ボタン**
メニューの ON/OFF 切り替えボタンです。
- 19 RESET ボタン**
カウンター、タイムコードの数値をリセットします。
< ノート >
カウンターにセットされている場合は、即時にリセットされ、TC や UB に設定されているときは TCG スイッチが SET のときのみ有効になります。
- 20 COUNTER 切り替えスイッチ**
カウンター表示を切り替えます。
COUNTER : 相対的なカウンターの数値を表示します。
ただし記録に不連続の部分がある場合、カウンターも不連続になることがあります。
TC : タイムコードを表示します。
UB : ユーザーズビットを表示します。
- 21 TCG 切り替えスイッチ**
タイムコードの動作モードを、FREE RUN、REC RUN、SET から選択します。くわしくは、「タイムデータの設定」(26 ページ)を参照してください。
- 22 AUDIO SELECT CH 1/CH 2 (音声チャンネル 1/2 自動/手動レベル調整切り替え) スイッチ**
音声チャンネル 1・2 の音声レベルを調整する方法を選びます。
AUTO : 自動調整をします。
MAN : 手動調整をします。
- 23 AUDIO IN (音声入力切り替え) スイッチ**
CH1 および CH2 に記録する入力信号を選択します。
FRONT: MIC IN 端子に接続したマイク入力信号を記録 (MIC) します。
REAR : AUDIO IN CH1/CH2 端子に接続したマイク (MIC) 入力信号を記録します。
REAR : AUDIO IN CH1/CH2 端子に接続したライン (LINE) 入力信号を記録します。
- 24 マイクパワースイッチ**
リアジャックの各 CH ごとに、ファントムパワー (+48V) 供給の ON/OFF を切り替えます。
< ノート >
フロントマイクのファントムパワー供給はサブメニュー画面 <MIC/ AUDIO> 内にある「FRONT MIC POWER」で ON/OFF を設定します。
- 25 バックアップ電池収納部**
バックアップ電池の交換については、「バックアップ電池の交換」(44 ページ)を参照してください。

各部の名称と機能



1 CC/ND フィルター選択つまみ
被写体の照度に合わせてフィルターを選択します。
1 : 3200K
2 : 5600K+1/8ND
3 : 5600K
4 : 5600K+1/64ND

2 レンズ固定レバー
レンズをレンズマウントに取り付けたあと、レバーを締めてレンズを固定します。

3 レンズマウント (バヨネット型)
レンズを取り付けます。

4 AUTO W/B (WHITE/BLACK) BAL スイッチ
AWB : ホワイトバランスを自動調整します。
側面の AWB メモリー切り替えスイッチを A または B の位置にしてこのスイッチを操作すると、調整された値がメモリーに記録されます。ATW、あるいは PRST の位置のときは、動作しませんのでご注意ください。
ABB : ブラックバランスを自動調整します。

5 SHUTTER スイッチ
電子シャッターの ON/OFF 切り替えスイッチです。
OFF: 電子シャッターは、動作しません。
ON : 電子シャッターが、動作します。
SEL: 電子シャッターのスピードを変更するときに、使用します。
このスイッチは、跳ね返りスイッチになっています。操作するごとに、シャッタースピードが変化します。
詳しくは、「電子シャッターの設定」(25 ページ)の内容を参照してください。

6 VTR START/STOP ボタン
録画の開始/停止ボタンです。

7 LENS 端子 (12 ピン)
レンズの接続コードをつなぎます。ご使用になるレンズについての詳しい説明は、レンズの取扱説明書をお読みください。

8 MIC IN (マイク入力) 端子 (XLR、3 ピン)
付属のマイクロホンを接続します。
マイク用の電源はこの端子から供給されます。

9 AUDIO OUT 端子 (ピンジャック)
オーディオ機器を接続します。音声 CH1、CH2 が独立して出力されます。

10 GENLOCK IN 端子 (BNC)
本機のカメラ映像 (CAM OUT 端子) を外部同期させる場合に、同期信号 (ブラックバースト信号) を入力します。

11 CAM OUT 端子
カメラ映像専用の出力端子です。

12 S-VIDEO OUT 端子 (Y/C 端子)
S-VIDEO OUT 端子に、バックアップ VTR を接続して画像を収録する場合、VTR の再生を行う動作 (REC CHECK など) を行うと、バックアップ VTR に本機の再生画像が記録されますので、ご注意ください。

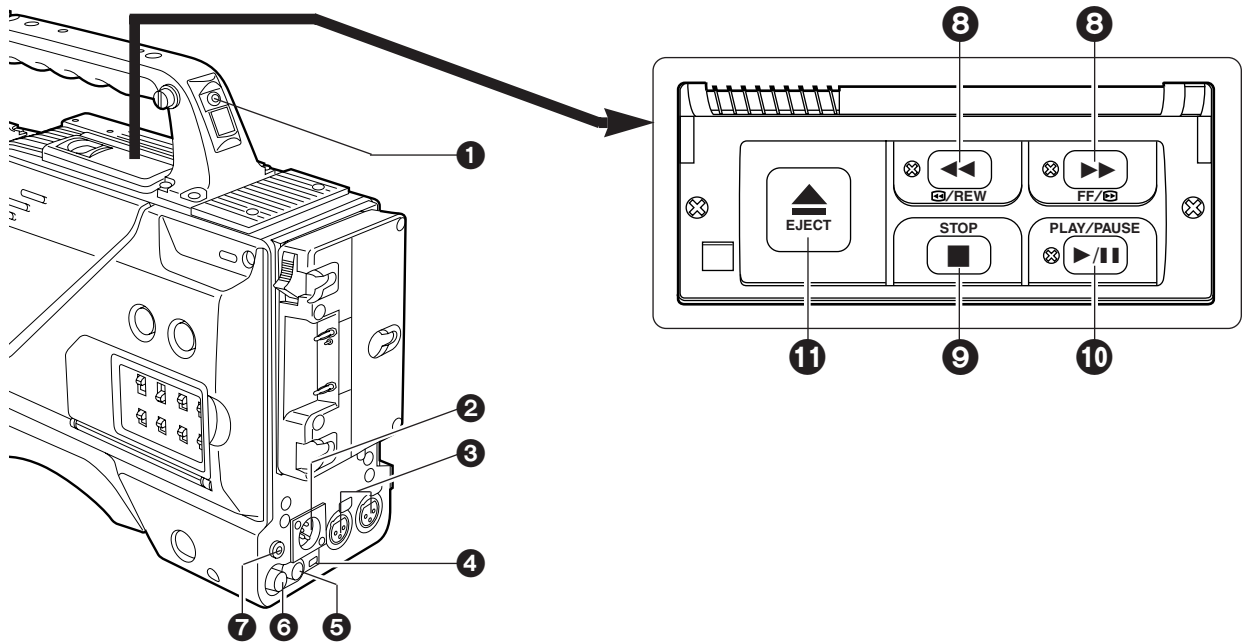
13 ビューファインダー接続端子
ビューファインダーのプラグを接続します。

14 ビューファインダーストップネジ
ビューファインダーを固定します。

15 ライトシュー
ビデオライトなどを取り付けます。

16 ショルダーベルト取付金具
ショルダーベルト (別売) を取り付けます。

各部の名称と機能



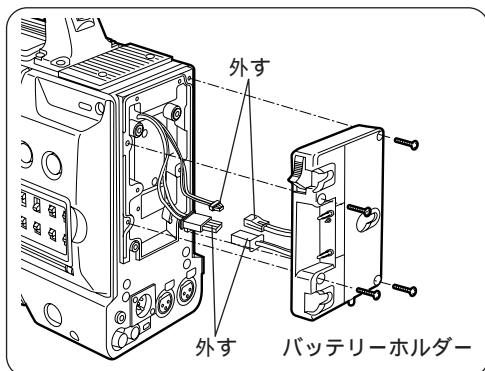
- 1** TALLY (タリー) ランプ
本機が記録モードになると点灯します。記録モードへ移行中は点滅します。
- 2** 外部 DC 入力端子
外部電源 (DC 電源) 入力端子です。AC アダプターを接続すると、自動的に外部から電源が供給されます。
- 3** AUDIO IN CH1/CH2 (音声入力チャンネル 1/2) 端子 (XLR、3 ピン)
外部マイクロホンやライン入力を接続します。
- 4** DV I/F 端子 (IEEE1394 準拠)
DV ケーブル (別売) で DV 端子を搭載したデジタルビデオ機器、コンピューターと接続します。
詳しくは、「外部機器と使う」(33 ページ) を参照ください。
- 5** DC OUT (DC 電源) 出力端子
通常、DC 12V の出力端子です。約 1A の電流を取り出すことができます。
また将来開発予定の HDD アダプターを接続すると、7V 電源の供給も可能です。
- 6** VIDEO OUT 端子 (BNC)
モニター用のコンポジットビデオ端子です。
<ノート>
本端子に、バックアップ VTR を接続して画像を収録する場合、VTR の再生を行う動作 (REC CHECK など) を行うと、バックアップ VTR に本機の再生画像が記録されますのでご注意ください。バックアップ記録には、カメラ専用出力端子を使用してください。
- 7** PHONES (イヤホン) 端子 (ミニジャック)
オーディオモニター用イヤホン (ステレオ) 端子です。イヤホンをつなぐと、スピーカーからの音声は出ません。
- 8** REW (巻き戻し) / FF (早送り) ボタン / ランプ
 - 停止中に押すと、高速の再生 (巻き戻し/早送り) モードになり、各々のランプが点灯します。
 - 再生中に押すと、4 倍速再生 (巻き戻し/早送り) モードになり、更にもう一度押すと 8 倍速再生 (巻き戻し/早送り) モードになります。
このボタンを押すごとに、4 倍速再生と 8 倍速再生が切り替わります。
 - STILL または REC PAUSE 中に押すと、押ししている間のみ約 1 倍速の再生 (巻き戻し/早送り) モードになります。ボタンを離すと元のモード (STILL または REC PAUSE) に戻ります。
変速再生モードは、STOP ボタンや PLAY/PAUSE ボタンまたは、EJECT ボタンで解除されます。
- 9** STOP (停止) ボタン
押すとテープは停止します。ただし、REC 中は操作できません。一度 REC/PAUSE にしてから STOP してください。
- 10** PLAY (再生) / PAUSE ボタン / ランプ
押すと再生が始まり、ランプが点灯します。再度押すと STILL (静止) になり、ランプが点滅します。
さらに、もう一度押すと再生に戻ります。
- 11** EJECT (取り出し) ボタン
ボタンを押すと、カセットホルダーが上がってカセットテープの出し入れができます。VTR が REC のときは操作できません。一度 REC PAUSE にしてから EJECT してください。

準備

Panasonic 社製バッテリーパック AU-BP402/AJ-BP490 をご使用の場合

バッテリーパックは、各々専用のバッテリーチャージャーを使って充電してください。
充電時間などの詳細については、使用するバッテリーチャージャーの取扱説明書をお読みください。

1 バッテリーホルダーを、取り外します。



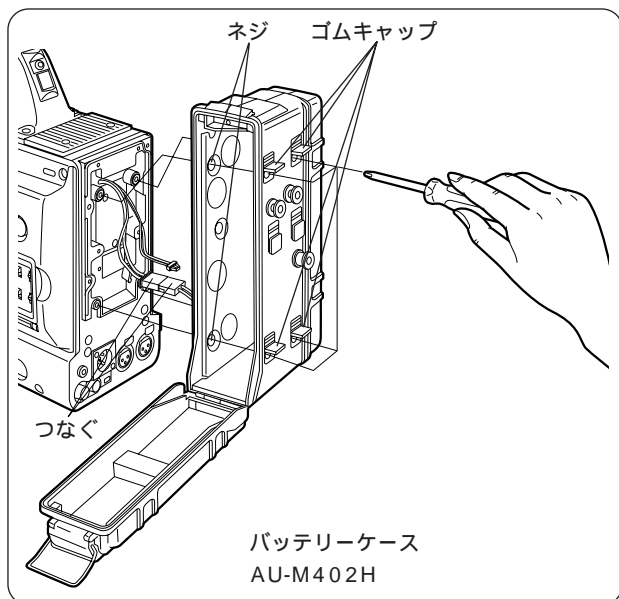
2 本機にバッテリーケースを装着します。

- ①本機のケーブルをバッテリーケース AU-M402H のケーブルとつなぎます。
- ②ドライバーでバッテリーケース AU-M402H を本機に装着します。

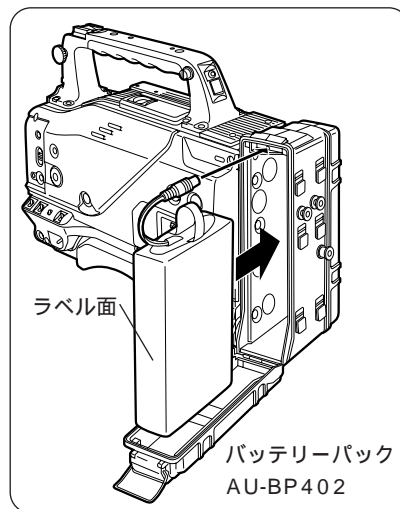
フタを開け、ゴムキャップを上を持ち上げると、ネジを締めるための穴が見えます。ドライバーでネジを締め、バッテリーケースを本機に装着してください。ネジは、最後まで確実に締めてください。

< ノート >

- ゴムキャップは、強く引っ張らないでください。
- ケーブルをかみ込まないよう、十分注意してください。



3 バッテリーケース内の端子にバッテリーパックのプラグをつなぎ、バッテリーパックをケースに入れます。



< ノート >

プラグの抜き差しは、必ず本機の電源を切ってから行ってください。

4 バッテリーの種類を設定します。

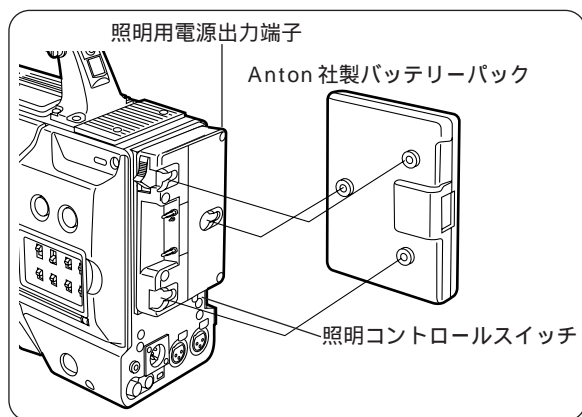
サブメニュー画面の < BATTERY > でバッテリーの種類を選択します。

AJ-BP490 の場合は TYPE A を、AU-BP402 の場合は NiCd12 を選択してください。(38 ページ参照)

Anton 社製バッテリーパックをご使用の場合

ご使用になる前に、Anton 社製専用のバッテリーチャージャーを使って充電してください。充電時間等の詳細については、使用するバッテリーチャージャーの取扱説明書をお読みください。

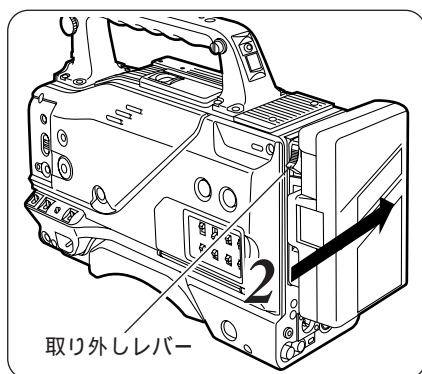
1 Anton 社製バッテリーパックを取り付けます。



<ご参考>

Anton 社製バッテリーホルダーには、照明用の電源出力端子と照明コントロールスイッチがついていますので、手軽にライトを取り付けることができます。照明システムの詳細については、Anton 社にお問い合わせください。

2 矢印の方向に差し込んでから、スライドさせてください。



<ご参考> バッテリーパックを取り外すにはバッテリーホルダーの取り外しレバーを完全に下まで倒したまま、バッテリーパックを取り付け時とは逆の方向にスライドさせてください。

3 バッテリーの種類を設定します。

サブメニュー画面の<BATTERY>でバッテリーの種類を選択します。

例) TRIMPAC13 の場合は NiCd13 を、TRIMPAC14 の場合は NiCd14 を、選択してください。(38 ページ参照)

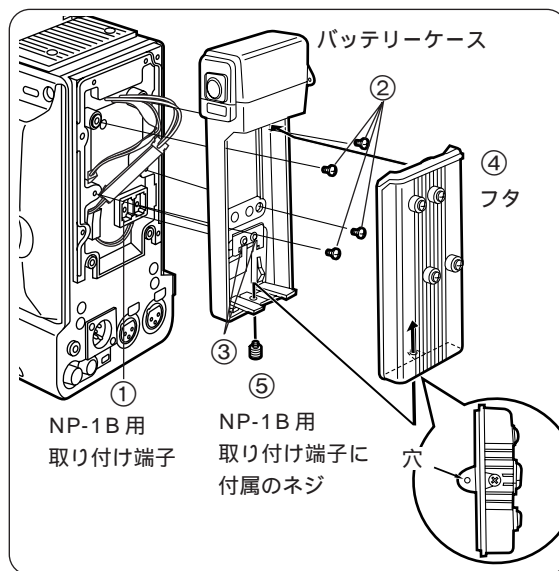
SONY 社製バッテリー NP-1B をご使用の場合

ご使用になる前に、SONY 社製専用のバッテリーチャージャーを使って充電してください。充電時間等の詳細については、使用するバッテリーチャージャーの取扱説明書をお読みください。

1 バッテリーホルダーを、取り外します。

14 ページの I を参照ください。

2 本機に SONY 社製バッテリーを取り付けます。



あらかじめ、バッテリーホルダーのフタを外します。

- ① 付属の NP-1B 用取り付け端子を取り付けます。
- ② 取り付け用ネジで、バッテリーケースを取り付けます。
- ③ 電源接触用ネジを締めます。
- ④ フタの上部を矢印の方向に差し込みます。
- ⑤ フタの下部 (金属部分) にある穴とバッテリーケースの下部にある穴とを合わせて、NP-1B 用取り付け端子に付属のネジで取り付けます。

3 バッテリーの種類を設定します。

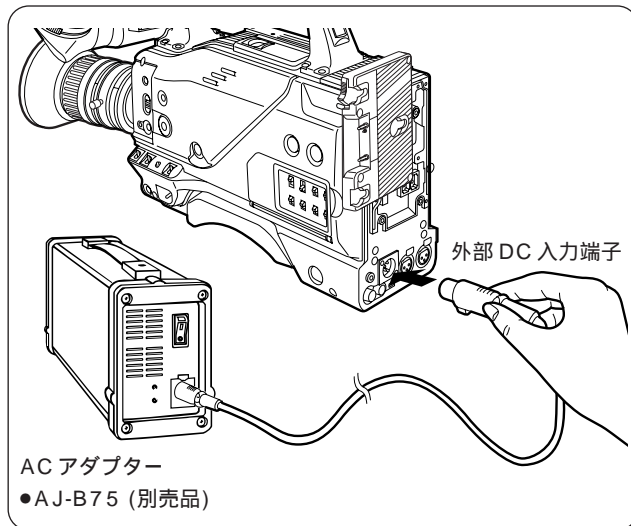
サブメニュー画面の<BATTERY>でバッテリーの種類を選択します。

NP-1B の場合は NiCd12 を選択してください。(38 ページ参照)

準備

AC電源の使用 (ACアダプタ AJ-B75 を使用した場合)

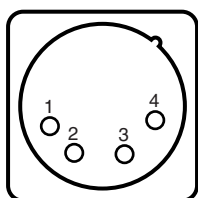
1 本機の外部 DC 入力端子と AC アダプター AJ-B75 の DC OUT 端子をつなぎます。



2 ACアダプターの電源をONにします。

3 本機のPOWERスイッチをONにします。

ACアダプター AJ-B75 以外の外部電源を使用するときは、外部 DC 入力端子のピン信号を確認してください。



外部 DC 入力端子

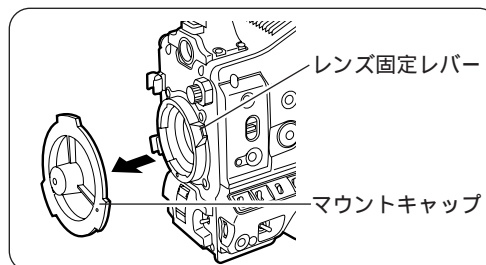
ピン No.	信号
1	GND
2, 3	-
4	+12V

< ノート >

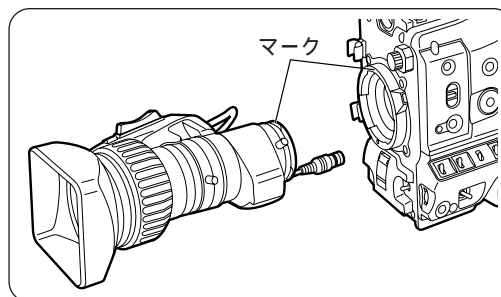
- バッテリーパックと AC アダプターを両方接続した場合、AC アダプターからの電源供給が優先されます。AC アダプター使用中のバッテリー着脱も可能です。
- AC アダプターを使用するときは、必ず AC アダプターの電源を ON にした後、本機の POWER スイッチを ON にしてください。逆の操作を行った場合、AC アダプターの出力電圧がゆっくり立ち上がるため、本機が誤動作することがあります。

レンズの取り付け

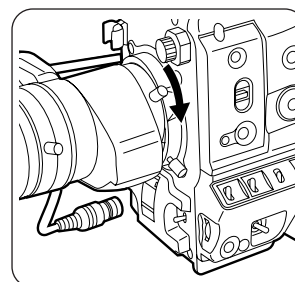
1 レンズ固定レバーを上げ、マウントキャップを外します。



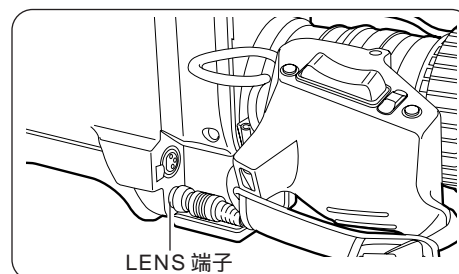
2 レンズマウント上部中央の凹部にレンズのセンターマークを合わせ、レンズを取り付けます。



3 レンズ固定レバーを下げて、レンズを固定します。



4 ケーブルをケーブルクランプに押し込み、LENS 端子に接続します。



5 レンズのフランジバックの調整を行います。

< ノート >

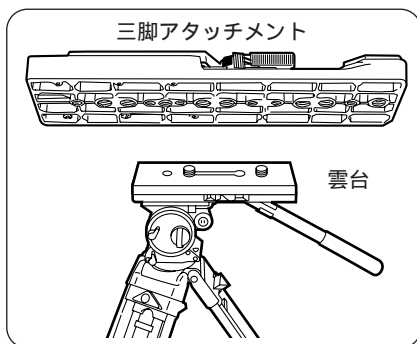
- レンズの取り扱いについては、レンズの取扱説明書をお読みください。
- レンズを取り外しているときは、機器保護のためにマウントキャップを取り付けてください。

準備

三脚への取り付け

本機を三脚へ取り付ける場合は、付属の三脚アタッチメントを使います。

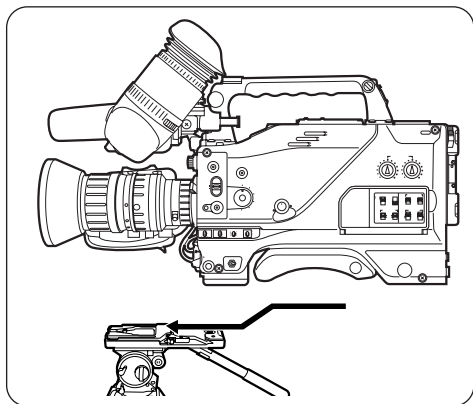
1 三脚アタッチメントを、三脚に取り付けます。



< ノート >

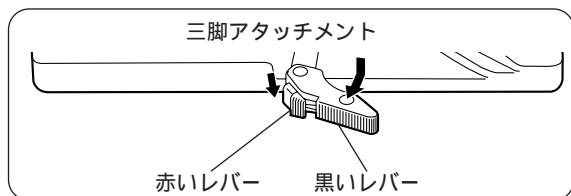
本機と三脚アタッチメントの重心を考慮して、アタッチメントの穴を選んでください。
また、選んだ穴の径が、雲台のネジの径と合うことを確認してください。

2 本機を三脚アタッチメントに取り付けます。



溝に沿って、カチッと音がするまで本機を前方へ滑らせます。

三脚アタッチメントから取り外す



赤いレバーを押しながら、黒いレバーを矢印の方向へ動かし、本機を後方に滑らして外します。

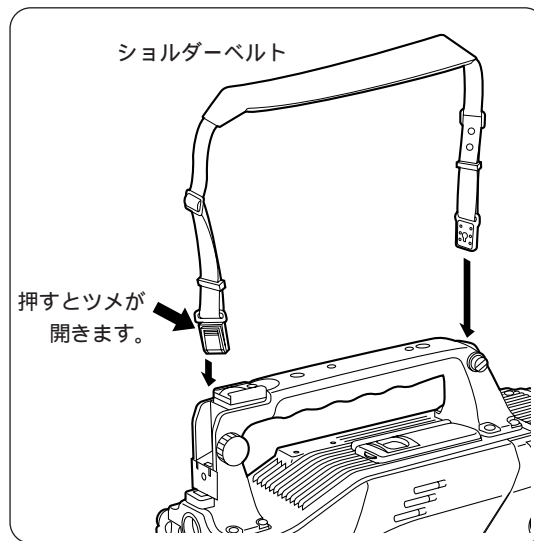
< ノート >

本機を取り外した後、三脚アタッチメントのピンが元に戻らないときは、再度赤いレバーを押しながら、黒いレバーを矢印の方向へ動かして、ピンを元の位置に戻します。
ピンが中央に残ったままでは、本機の取付ができませんのでご注意ください。

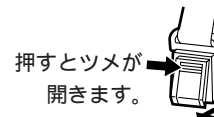
ビューファインダー・マイクの取り付け

ビューファインダー・マイクの取り付けおよび調整については、ビューファインダーの取扱説明書を参照ください。

ショルダーベルト（別売）の取り付け



ショルダーベルトを外す場合は、取り付け部のツメを開いてから外します。



< ノート >

ショルダーベルトがしっかりと取り付けられていることを、確認してください。

準備

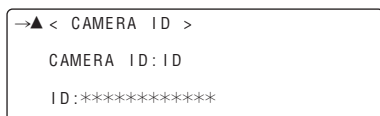
カメラ ID の設定

カメラ ID の設定は、<CAMERA ID> 画面で設定します。
12 文字以内の英数字や記号、スペースが使用できます。

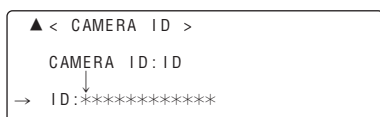
< ノート >

設定メニューの表示中は、カラーバー信号を出力してもカメラ ID は表示されません。

- 1 サブメニューの操作（34 ページ参照）を行い、<CAMERA ID> の画面を開きます。



- 2 JOG ダイアルボタンを回して、ID の項目に矢印（カーソル）を移動します。



- 3 JOG ダイアルボタンを押すと、矢印（カーソル）が点滅して入力モードになります。

- 4 設定したい文字が現れるまで、JOG ダイアルボタンを回します。

JOG ダイアルボタンを回すと、文字表示が
スペース：



アルファベット：A ~ Z



数字：0 ~ 9



記号：'、>、<、/、

の順に切り替わります。

- 5 JOG ダイアルボタンを押して、文字を確定します。

- 6 JOG ダイアルボタンを回して、矢印（カーソル）を次の位置（右）に移動し、3 ~ 5 の操作を繰り返して、文字を設定します。

- 7 メニュー操作を終了するときは、MENU ボタンを押します。

設定メニューが消え、本機の現在の状態が表示されます。

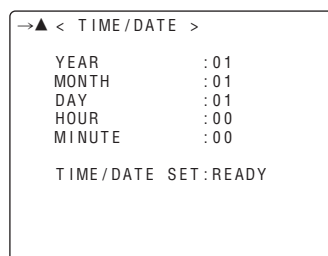
↓を→に戻したいときは、↓が：の上にあるときに、JOG ダイアルボタンを押します。

< ノート >

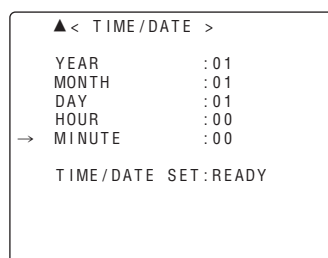
このとき入力したカメラ ID は、カラーバー信号と同時に記録されます。

日付と時刻の設定

- 1 サブメニューの操作（34 ページ参照）を行い、<TIME/DATE> の画面を開きます。



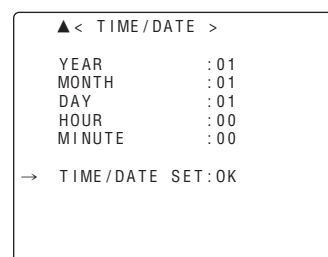
- 2 JOG ダイアルボタンを回して変更する項目を選択し、JOG ダイアルボタンを押します。



- 3 JOG ダイアルボタンを回して設定値を変更し、さらに押して確定します。

- 4 設定が終了すると、JOG ダイアルボタンを回して TIME/DATE SET を選び、JOG ダイアルボタンを押します。

READY 表示が ACTIVE OK と変化し、時計機能が動作を始めます。



- 5 メニュー操作を終了するときは、MENU ボタンを押します。

設定メニューが消え、本機の現在の状態が表示されます。

< ノート >

- 秒設定は行えません。必ず 0 秒スタートになります。
- 時刻精度は、電源 OFF 状態の常温で月差約 ± 30 秒程度です。正確な時刻を必要とする場合は、電源 ON 時に、時刻確認、再設定を行ってください。

レンズの調整と確認

フランジバック調整

ズーム操作の際に望遠・広角の両方で焦点が正確に合わない場合は、フランジバック（レンズの取り付け面から結像面までの距離）の調整をします。

一度調整すると、レンズの交換をしない限り再調整の必要はありません。調整方法やレンズの各部位置については、レンズの取扱説明書を参照してください。

ホワイトシェーディングの確認

本機は、3タイプのレンズに対応した固定のデータと任意に調整可能なデータをホワイトシェーディング補正に利用できます。これらのデータは、サブメニューの<LENS SHADING>（39ページ参照）で選択可能です。

まず使用するレンズのタイプと設定が一致しているかご確認ください。固定データの設定は以下の通りです。

Aタイプ：S18 × 6.7BERM4 レンズ専用データ

Bタイプ：YH18 × 6.7KRS レンズ専用データ

Cタイプ：S14 × 7.3BRM レンズ専用データ

ご使用のレンズがいずれのタイプにも相当しないときは、メニュー操作で以下の項目「ホワイトシェーディング調整」を行ってください。

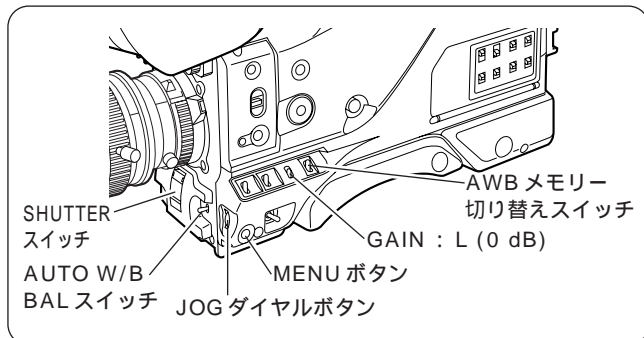
ホワイトシェーディング調整

<ノート>

ホワイトシェーディング調整を行っても、レンズ絞りが開放（open）付近で上下方向の色つきが発生することがありますが、この現象はレンズや光学系の特性で、故障ではありません。

1 調整のためにカメラを設定します。

- ① カメラにレンズを取り付けます。
レンズケーブルも忘れずに取り付けてください。
- ② 電子シャッターを「OFF」にし、ゲインを「L（0dB）」にします。
- ③ レンズにエクステンダがついている場合は、エクステンダ機能を外してください。
- ④ メニュー操作（34ページ）を行い、サブメニューの<LENS SHADING>を開き、「LENS SELECT」をUSERに設定します。



2 画像設定を行います。

- ① 色ムラの無い白い紙を撮影します。
- ② レンズ絞りをマニュアルにして、画面全体にZEBRAがかかるように、レンズ絞りを調整します。レンズ絞りが、F4 ~ F11の間になっていることを確認してください。

<ノート>

- 蛍光灯や水銀灯などの照明では、フリッカー（ちらつき現象）が発生しやすいので、太陽光やハロゲンランプなどの、フリッカーが発生しにくい光源を用いてください。
- 照明にムラがあると、画面の一部にZEBRAがかからなくなりますので、照明の位置などを調整してください。
- レンズ絞りが、F4 ~ F11の間になっていない場合も、照明の位置などを調整してください。
- 電子シャッターは、必ず「OFF」のままにしておいてください。

3 ホワイトバランス/ブラックバランスを調整します。

- ① WHITE BAL 切り替えスイッチを「A」または「B」にして、AUTO W/B BAL スイッチでホワイトバランスの自動調整（AWB）を行います。
- ② AUTO W/B BAL スイッチでブラックバランスの自動調整（ABB）を行います。
- ③ 再度 AUTO W/B BAL スイッチでホワイトバランスの自動調整（AWB）を行います。

4 再度2-②の操作を行います。

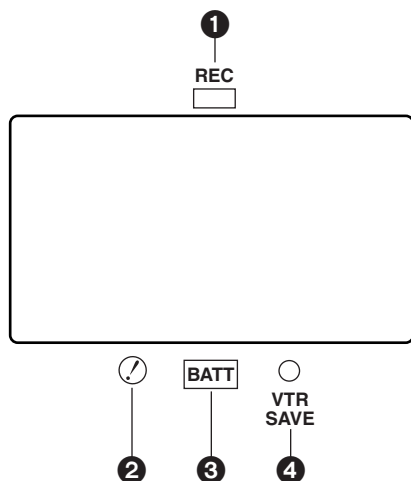
5 ホワイトシェーディング調整を実行します。

- ① メニュー操作（34ページ）を行い、サブメニューの<LENS SHADING>画面を開きます。
- ② JOG ダイアルボタンを回して、カーソルを「LENS SELECT」に合わせ JOG ダイアルボタンを押し、さらに JOG ダイアルボタンを回して「USER」に合わせ、JOG ダイアルボタンを押しして選択します。
- ③ JOG ダイアルボタンで、カーソルを「SHADING (USER)」に合わせ、選択します。
画面上に「ACTIVE」が表示され、ホワイトシェーディングの自動調整を行っていることを示します。「ACTIVE」の表示が消え、OKが表示されると調整が完了です。
- ④ MENU ボタンを押し、メニュー画面を閉じます。

6 レンズにエクステンダがついている場合は、エクステンダ機能を入れて、再度2~5の操作を行います。

ビューファインダー表示

ビューファインダーのランプ表示



表示例は AJ-VF10 の表示です。
(ビューファインダーに関する内容は、別売のビューファインダーの取扱説明書をご覧ください)

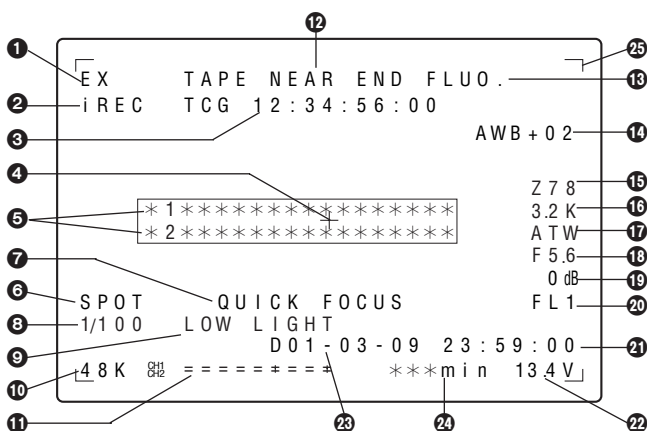
- 1 REC (記録) ランプ**
記録時に点灯 (赤) します。
また、異常が発生したときには点滅します。
くわしくは、「警告システム」(42 ページ) を参照ください。
- 2 ⚡ (変則動作状態警告) ランプ**
サブメニューの <!LED> で「ON」に設定した項目のうち、本機が変則動作状態になると点灯します。
⚡ランプ表示の対象となる項目の選択については、サブメニューの <!LED> (41 ページ参照) をお読みください。
- 3 BATT (バッテリー) ランプ**
バッテリーの電圧が下がり、使用できなくなる数分前に点滅を始め、使用できなくなると点灯します。動作の中断を防ぐため、バッテリーの消耗間近になる前に、バッテリーを交換してください。
くわしくは、「警告システム」(42 ページ) を参照ください。
- 4 VTR SAVE (VTR 節電) ランプ**
VTR SAVE/STBY スイッチを SAVE にすると点灯します。
記録中は消灯します。
<ノート>
記録一時停止時は、ポーズタイマー (一時停止時間) の設定時間経過後に、再生一時停止時には 1 分後に、VTR SAVE/STBY スイッチに関係なく自動的に SAVE 状態になり、ランプが点灯します。

ビューファインダー画面の状態表示

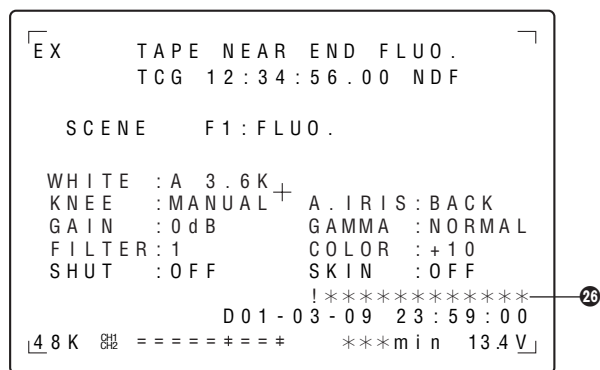
ビューファインダー画面には、映像の他に本機の設定や動作の状態を示すメッセージが表示されます。
また、センターマーカやセーフティーゾーンマーカなどが表示されます。

また、画面の上端、下端、右端には、サブメニューの <MARKER/ZEBRA> <VF DISPLAY 1/2> <VF DISPLAY 2/2> 画面や、ビューファインダー表示に関連するスイッチで「ON」に設定された項目が表示されます。
また、設定を変更したときや調整をしたときに、設定内容・調整の経過状態・調整結果を知らせるメッセージを約 3 秒間表示させることができます。

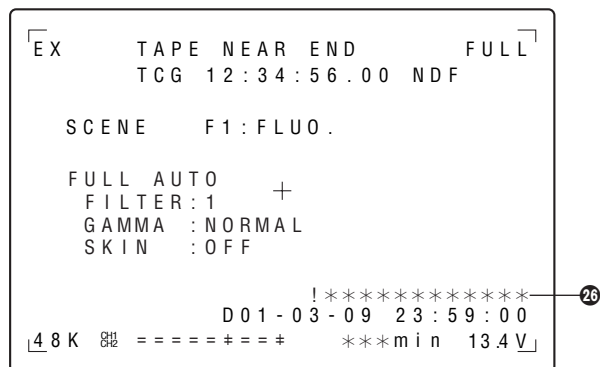
くわしくはサブメニュー画面の <MARKER/ZEBRA> <VF DISPLAY 1/2> <VF DISPLAY 2/2> <!LED> <CAMERA ID> <TIME DATE> の各項目を参照ください。



MODE CHECK スイッチ ON 時の
ビューファインダー画面の状態表示 (通常時)



MODE CHECK スイッチ ON 時の
ビューファインダー画面の状態表示 (FULL AUTO 時)



ビューファインダー表示

表示項目	表示内容	表示されたときの状態
①エクステンダー	EX	レンズエクステンダーが使用されているときに表示します。
②INTERVAL REC 状態表示	iREC	インターバル記録モードを表示します。くわしくは「INTERVAL REC 機能」(32 ページ)を参照ください。
③タイムコード表示	TCG 12:59:59:29 TCR 12:59:59:29 UBG AB:CD:EF:00 UBR AB:CD:EF:00 CNT 01:59:59	TCG (タイムコードジェネレーター値) を表示します。 TCR (タイムコードリーダー値) を表示します。 UBG (ユーザーズビットジェネレーター値) を表示します。 UBR (ユーザーズビットリーダー値) を表示します。 COUNTER (カウンター値) を表示します。
④センターマーカー	+	サブメニュー画面 <MARKER/ZEBRA> の「CENTER MARK」(39 ページ参照) で ON を選択時、表示されます。ビューファインダー画面の中心を表示します。
⑤ 1 行目メッセージ 表示 (スイッチ設定変更)	AWB Ach *.*K AWB Ach *.*K UNDER AWB Ach *.*K OVER AWB Bch *.*K AWB Bch *.*K UNDER AWB Bch *.*K OVER AWB PRE *.*K AUTO KNEE ON AUTO KNEE OFF GAIN **dB FILTER * SHUTTER OFF SHUTTER 1/***** IRIS MODE **** FULL AUTO ON FULL AUTO OFF SCENE FILE USER SCENE FILE 1 SCENE FILE 2 SCENE FILE 3 SCENE FILE 4 SCENE FILE STD	AWB を Ach で行ったときに表示します。 AWB を Ach で行い、色温度が表示範囲より低いときに表示します。 AWB を Ach で行い、色温度が表示範囲より高いときに表示します。 AWB を Bch で行ったときに表示します。 AWB を Bch で行い、色温度が表示範囲より低いときに表示します。 AWB を Bch で行い、色温度が表示範囲より高いときに表示します。 AWB を PRE に切り換えたときに表示します。 AUTO KNEE を OFF から ON に変更したときに表示します。 AUTO KNEE を ON から OFF に変更したときに表示します。 GAIN 切り替え時に表示されます。 フィルター切り替え時に表示されます。 シャッターを OFF に切り換えたときに表示されます。 シャッターを ON に切り換えたときに表示されます。 IRIS MODE スイッチを切り換えたときに表示されます。 FULL AUTO を OFF から ON に切り換えたときに表示されます。 FULL AUTO を ON から OFF に切り換えたときに表示されます。 シーンファイルダイヤルを切り換えたときに表示されます。
(AWB, ABB の 動作表示)	AWB ACTIVE AWB OK *.*K AWB OK *.*K UNDER AWB OK *.*K OVER AWB NG AWB PRE ATW MODE ABB ACTIVE ABB OK ABB NG	AWB 動作時 AWB 正常終了時 色温度表示範囲外 (*.*K 以下) 正常終了 色温度表示範囲外 (*.*K 以上) 正常終了 AWB 異常終了 AWB スイッチが PRE に設定され、AWB が実行できないときに表示します。 ATW (フルタイムオートホワイトバランス) 動作時 ABB 動作時 ABB 正常終了 ABB 異常終了
⑤ 2 行目メッセージ 表示 (AWB, ABB 実行 後の異常結果メッ セージ表示)	color temp LOW color temp HIGH LEVEL OVER LOW LIGHT UNSTABLE CONDITION TIME OVER	AWB 動作時、色温度が低すぎることを警告しています。 AWB 動作時、色温度が高すぎることを警告しています。 AWB 動作時、輝度が高すぎることを警告しています。 AWB 動作時、輝度が低すぎることを警告しています。 AWB 動作時、画面が安定していないことを警告しています。 AWB 動作時間内に、処理が実行できなかったことを警告していません。
⑥IRIS MODE スイッ チの状態表示	SPOT BACK	IRIS MODE スイッチが SPOT.L の位置にあるとき表示します。 IRIS MODE スイッチが BACK.L の位置にあるとき表示します。
⑦QUICK FOCUS 表示	QUICK FOCUS	QUICK FOCUS が ON のとき表示します。

ビューファインダー表示

表示項目	表示内容	表示されたときの状態
⑧ シャッタースピード	1/**.* 1/100 ~ 1/2000 SUPER V	シャッタースピードが SYNCHRO SCAN に設定されています。 固定のシャッタースピードが設定されています。 SUPER V (高垂直解像度モード) に設定されています。
⑨ LOW LIGHT 警告表示	LOW LIGHT	輝度が低下したときに表示します。
⑩ AUDIO サンプリング周波数表示	48k 32k	48KHz が選択されていることを表示します。 32KHz が選択されていることを表示します。 < ノート > 1394 入力時は、入力の状態を表示します。
⑪ オーディオレベルメータ表示	- - - - - + - - + - - - - - + - - +	CH1、CH2 各々のオーディオレベルを表示します (31 ページを参照ください)。
⑫ VTR 警告表示/電圧警告表示	REC WARNING SLACK E-** HUMID SERVO RF TAPE NEAR END TAPE END BATT NEAR END BATT END MP TAPE BACKUP BATT EMPTY	記録中の異常の発生を表示します。 メカニズムに起因した異常の発生を表示します。異常の種類によっては自動的に電源が切れる場合もあります。 < ノート > 表示されるコードについて、くわしくは「エラーコード」(44 ページ参照) をご覧ください。 結露の発生を表示します。 録画・再生中にサーボロックが行われていません。 テープからの信号が低下しています。 テープの残量がわずか (約 2 分) です。 テープ終端で停止しています。 バッテリーの残量がわずかです。 バッテリー消耗のため、停止しています。 MP テープが入っています。テープは自動的に EJECT されます。 バックアップ電池の交換時期です。
⑬ FULL AUTO/ SCENE FILE 表示	FULL 設定されたファイル名	FULL AUTO スイッチが ON のとき表示します。 シーンファイルのファイル名はそれぞれ設定された名前 (8 文字) を表示します。
⑭ AWB 色温度微調整量表示	AWB+**	< VF DISPLAY 2/2 > の「COLOR TEMP」が ON で (40 ページ参照) かつ色温度微調整を行っている場合は調整量が表示されます。 OFF の場合、また ATW のみに設定している場合は表示しません。
⑮ ズーム表示	Z00 ~ Z99	ズーム量を表示します。ただし、1/2 インチサイズのレンズは多くがズームポジションのリターンがありません。この場合は表示設定が ON になっていても、この項目は表示されません。
⑯ AWB 色温度表示	*.*K	色温度表示
⑰ ATW、AWB ch 表示	Ach Bch PRE ATW	WHITE BAL スイッチが Ach に設定されています。 WHITE BAL スイッチが Bch に設定されています。 WHITE BAL スイッチが PRE に設定されています。 フルタイムオートホワイトバランスが設定されています。
⑱ F 値表示	NC OPEN F2.0 ~ F16 CLOSE	レンズケーブルが接続されていないときに表示されます。 レンズの絞りが開放されているときに表示されます。 レンズの絞り値を表示します。 レンズの絞りが閉じているときに表示されます。 < ノート > 絞り値の表示機能を持ったレンズを使用している場合に表示されません。
⑲ ゲイン表示	0 ~ 36dB	現在のゲインの値を表示します。
⑳ フィルター表示	FL1 ~ FL4 FL -	フィルターポジションの位置を表示します。 フィルターポジションが正規の位置に設定されていません。
㉑ カレンダー・時計表示	01-01-01 00:00:00	時計は 24 時間制で表示されます。 (年 - 月 - 日 時 : 分 : 秒を表します)

ビューファインダー表示

表示項目	表示内容	表示されたときの状態
22 バッテリー残量表示	**.*V B■■■■■	入力電圧が表示されます。 バッテリーの残量の目安を“■”で表示します。充電が十分なときは“■”が4個表示されます。サブメニュー<BATTERY>の「BATTERY SELECT」(38ページ参照)がType AまたはType B以外のとき、表示可能です。
23 カレンダー・時計ステータス切り換え表示	D	<VF DISPLAY 2/2>のTIME/DATEで“TIME+DATE”(40ページ参照)を選択した場合、<VTR OPTION>のTIME STAMP(38ページ参照)で“REC”を選択した場合、画面上で見分けをつけるため、VF DISPLAYのみ選択時は“D”が表示されます。
24 テープ残量/記録禁止表示	**.*min END INH	通常時は“**.*min”が点灯し、ニアエンド中は点滅します。 テープエンド時には“END”が点灯します。 記録禁止時は“INH”が点灯します。
	IND+003	INDEXサーチ中に点灯します。数値は+はFWD方向へのINDEXカウント数、-はREV方向のカウント数、検出するたびに値が減り、0となりSTOPするとテープ残量表示に戻ります
25 セーフティゾーンマーカー	コーナー : 3種類 ボックス : 3種類 16:9フルボックス : 3種類	SAFETY ZONEで01~09の選択されたセーフティゾーンマーカーが表示されます。くわしくはサブメニュー<MARKER/ZEBRA>のSAFETY ZONE(39ページ参照)を参照ください。
26 ! LED点灯要因の表示 (MODEチェック時のみ表示される項目)	SUPER-V EXT ON FIL No1 FIL wo No1 FIL NG SHUT wo 1/100 SHUT ON WHITE ATW WHITE PRE GAIN wo 0dB	SUPER-VがONのとき表示します。 EXTENDERがONのとき表示します。 FILTERが1になったとき表示します。 FILTERが1以外になったとき表示します。 フィルターがNGのとき表示します。 SHUTTERが1/100以外のとき表示します。 SHUTTERがONのとき表示します。 AWBがATWになったとき表示します。 AWBスイッチがPREになったとき表示します。 ゲインが0dB以外になったとき表示します。

ビューファインダー画面の表示選択

	該当の状態になったとき、状態表示する	MARKER/ZEBRAで表示/非表示を選択可	VF DISPLAY 1/2か2/2で表示/非表示選択を選択可	表示を消すことができる	再生時表示する
1 エクステンダー表示	○	-	○	○	-
2 INTERVAL REC 状態表示	○	-	-	-	-
3 タイムコード表示	-	-	○	○	○
4 センターマーカー	-	○	-	○	-
5 メッセージ表示	○	-	-	-	-
6 IRIS MODE スイッチの状態表示	○	-	○	○	-
7 QUICK FOCUS 表示	○	-	-	-	-
8 シャッタースピード表示	○	-	○	○	-
9 LOW LIGHT 警告表示	○	-	○	○	-
10 AUDIO サンプリング周波数表示	-	-	○	○	○
11 オーディオレベルメータ表示	-	-	○	○	○
12 VTR 警告表示/電圧警告表示	○	-	-	-	○
13 FULL AUTO/SCENE FILE 表示	○	-	○	○	-
14 AWB 色温度微調整量表示	○	-	○	○	-
15 ズーム表示	-	-	○	○	-
16 AWB 色温度表示	-	-	○	○	-
17 ATW、AWB ch 表示	-	-	○	○	-
18 F 値表示	-	-	○	○	-
19 ゲイン表示	-	-	○	○	-
20 フィルター表示	-	-	○	○	-
21 カレンダー・時計表示	-	-	○	○	-
22 電圧表示、BAR 表示	-	-	○	○	-
23 カレンダー・時計ステータス切り換え表示	○	-	-	-	-
24 テープ残量/記録禁止表示	-	-	○	○	-
25 セーフティゾーンマーカー	-	○	-	○	-

ホワイトバランス/ブラックバランスの調整

ホワイトバランスとブラックバランスの調整はAWB（ホワイトバランス調整）→ABB（ブラックバランス調整）→AWBの順に行った方がより良い画像を得られます。ブラックバランスは、通常、電源を再投入した場合でも調整し直す必要はありません。

< ノート >

人工照明、特に蛍光灯や水銀灯などは、輝度が一定のように見えても、電源周波数に同期してR・G・B各色の強さが変化しています。特に電源周波数が50Hzの地域では、本機の垂直同期周波数（約60Hz）と照明の周波数（50Hz）が互いに干渉するため、色相が時間とともに変化する現象やフリッカーが生じ、正常にホワイトバランスをとることができません。

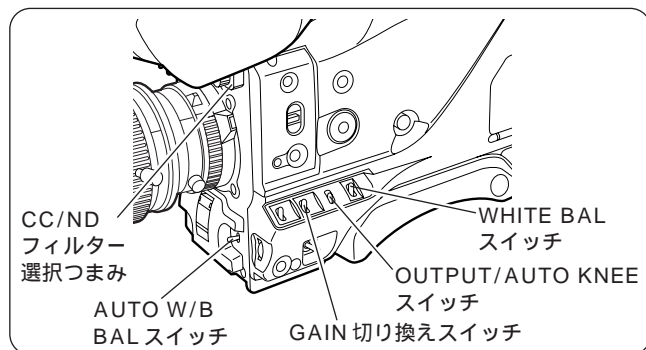
下記の表に示す設定でホワイトバランスをとることをおすすめします。

電源周波数	シャッター速度
50Hz	1/100
60Hz	OFF

ホワイトバランスの自動調整

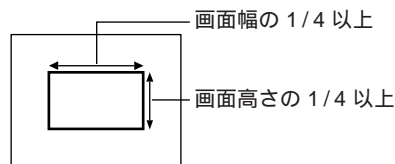
1 図のようにスイッチを設定します。

- ① WHITE BAL スイッチをAまたはBにする。
- ② OUTPUT/AUTO KNEE スイッチをCAMにします。
- ③ GAIN 切り換えスイッチを通常は0dBにします。暗すぎるときには適切なゲインに設定します。
- ④ CC/ND フィルター選択つまみを照明条件に合わせて切り換えます。



2 被写体の照明光源と同じ条件のところにホワイトパターンを置き、ズームアップして画面に白を写します。

被写体近くの白いもの（白布、白壁）を代用することもできます。必要な白の大きさは下図の通りです。



< ノート >
画面内に高輝度スポットを入れないようにしてください。

3 レンズの絞りを調整します。

4 AUTO W/B BAL スイッチを「AWB」側に倒し、スイッチを離します。

スイッチは中央に戻り、ホワイトバランスの自動調整が実行されます。

5 AWBの実行状態に応じてビューファインダー内のメッセージが表示されます。

くわしくはビューファインダー表示（20ページ）をご覧ください。

< ノート >

- ゲイン切り替え値を変更したときも、ホワイトバランスを取るようになってください。よりよい画像が得られます。
- ホワイトバランス調整が正常に終了しなかったときは、ビューファインダー画面にエラーメッセージを表示されます。再度調整を試みてください。繰り返し試みてもエラーメッセージが表示される場合は、販売店かサービスセンターにご相談ください。

< ご参考 >

ホワイトバランスを調整する時間がないときは、WHITE BAL スイッチを「PRST」にします。

FILTER つまみ（外側）の設定位置に応じて、フィルターに対するホワイトバランスがとれます。

また、あらかじめWHITE BAL スイッチのA、B、PREにATWを設定していると自動追尾のホワイトバランスが動作するので便利です。

ブラックバランスの自動調整

ブラックバランスは、次のような場合に調整が必要です。

- 本機を初めて使用するとき
- 長時間使用しなかった後に使用する時
- 周囲の温度が大幅に変化した状態で使用する時
- ゲイン切り替え値を変更したとき
- MASTER GAMMA を変更したとき

1 AUTO W/B BAL スイッチを「ABB」側に倒し、スイッチを離します。

スイッチは中央に戻り、絞りは自動的に遮光状態になり調整が実施されます。

2 ABBの実行状態に応じてビューファインダー内のメッセージが表示されます。

くわしくはビューファインダー表示（20ページ）をご覧ください。

< ノート >

- ブラックバランス調整が正常に終了しなかったときは、ビューファインダー画面にエラーメッセージを表示されます。再度調整を試みてください。繰り返し試みてもエラーメッセージが表示される場合は、販売店かサービスセンターにご相談ください。
- ブラックバランス調整中、ゲイン切り替え回路が自動的に切り替わります。また、ビューファインダー画面上にフリッカーやノイズが現れることがありますが、故障ではありません。

電子シャッターの設定

シャッターモードについて

設定できるシャッターモードとシャッタースピード

モード	シャッタースピード	用途
標準	1/100、1/120、1/250、1/500、1/1000 および 1/2000 (秒)	動きの速い被写体を鮮明に撮影したい場合
SYNCHRO SCAN	60.3Hz ~ 250.0Hz の範囲	モニター画面を、水平方向の縞模様が少なくなるように撮影したい場合
SUPER V		垂直解像度を上げる。

< ノート >

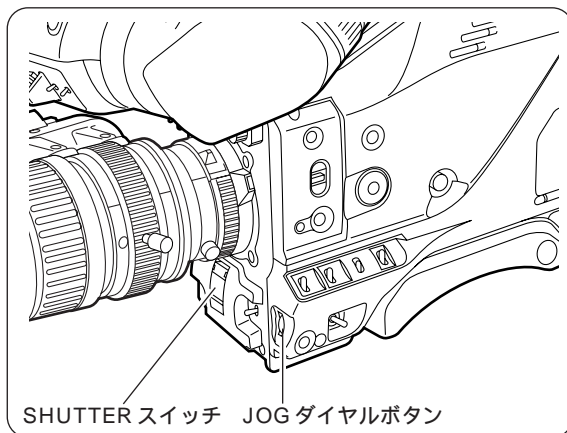
- 電子シャッターを、どのモードで使用してもシャッタースピードが速いほど、カメラの感度は低減します。
- 絞りが自動のときには、シャッタースピードが速くなるにつれ絞りが開き、焦点深度も浅くなります。
- SUPER V を選択時は、感度は半分になります。

シャッターモード/スピードの設定

- シャッタースピードおよび標準モードにおけるシャッタースピードは、SHUTTER スイッチを切り替えて設定します。
- SYNCHRO SCAN モードにおけるシャッタースピードは、JOG ダイアルボタンの操作で簡単に変更することができます。

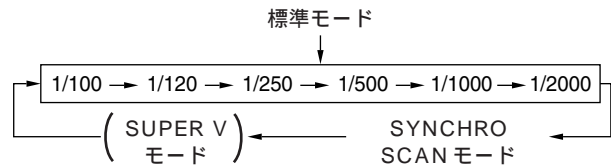
1 SHUTTER スイッチを、「ON」から「SEL」側に押しします。

ビューファインダー画面の設定変更メッセージ表示部に、シャッターの現在の設定が表示されます。



2 もう一度 SHUTTER スイッチを「SEL」側に押し、希望のモードまたはスピードが表示されるまで繰り返します。

全てのモードとスピードが表示される場合は、以下の順序で表示が切り替わります。



< ノート >

出荷時には、SUPER V モードは指定されていないので表示されません。指定するにはサブメニュー画面 <SW MODE> の「SUPER V」を ON にします。(37 ページ参照)

シンクロスキャンモードの設定

1 SHUTTER スイッチを、「ON」から「SEL」側に押し、SYNCHRO SCAN に設定します。

JOG ダイアルボタンを上下に回すことで 60.3Hz ~ 250.0Hz の範囲内で連続的に切り替えることができます。

< ノート >

JOG ダイアルボタンを押しながら上または下に JOG を回すと、JOG ダイアルボタンを押している間、連続的に切り替わります。

タイムデータの設定

ユーザーズビットとタイムコードの両方を使う場合は、ユーザーズビットを先に設定します。
タイムコードの設定可能範囲は、00:00:00:00 ~ 23:59:59:29 です。

ユーザーズビットの設定

ユーザーズビットを設定することにより、16進数8桁までのメモ(日付、時刻)などの情報をサブコードトラックに記録できます。

1 COUNTER/TC/UBスイッチを「UB」にします。

2 TCGスイッチを「SET」にします。

“UBG **:**:**:**” がビューファインダーに表示されます。点滅している部分をJOGダイヤルボタンを回して数値を選択し、JOGダイヤルボタンを押して確定します。確定すると点滅が右隣の文字に移動しますので、同様にしてユーザーズビットを設定します。

3 TCGスイッチを「F-RUN」または「R-RUN」にします。

4 サブメニューの <VTR FUNCTION> で「UB MODE」の項目を選択します。(38ページ参照)

ユーザーズビットのメモリー機能について

ユーザーズビットの設定内容(実時刻以外)は、自動的にメモリーされ、電源を切った後も保持されます。

< ノート >

- サブメニュー <VTR FUNCTION> の「UB MODE」の項目で DATE を選択したときは、TIME/DATE 画面の年/月/日/時のリアルタイム動作に従います。
- サブメニュー <VTR FUNCTION> の「UB MODE」の項目で TIME を選択したときは、TIME/DATE 画面の時/分/秒のリアルタイム動作に従います。

タイムコードの設定

1 COUNTER/TC/UBスイッチを「TC」にします。

2 TCGスイッチを「SET」にします。

“TCG **:**:**:**” がビューファインダーに表示されます。ユーザーズビットの設定と同様の操作で、タイムコードを設定してください。

3 サブメニューの <VTR FUNCTION> 画面で TC MODE を「DF」または「NDF」に切り替えます。

ドロップフレームモードでタイムコード歩進させるときは「DF」に切り替え、ノンドロップフレームモードでタイムコードを歩進させるときは「NDF」に切り替えます。

4 TCGスイッチを切り替えます。

タイムコードをフリーランで歩進させるときは「F-RUN」に切り替え、レックランで歩進させるときは「R-RUN」に切り替えます。

< ノート >

POWER スイッチを ON → OFF → ON と切り替えた場合、タイムコードのバックアップ精度が数フレーム変化します。

シーンファイル

シーンファイル機能

撮影状況に応じたカメラのセットアップ値を本体メモリーに記憶できます。撮影時、シーンファイル選択ダイヤルを回せば瞬時に必要なファイルが読み出せます。

工場出荷時は、以下、6つのファイルが保存されています。

USER : FACTORY (ユーザーファイル)

F1 : FLUO. (蛍光灯ファイル)
蛍光灯の特性を考慮した、屋内撮影に最適なモードです。

F2 : SPARKLNG (スパークリングファイル)
被写体にメリハリをつけた披露宴等に最適なモードです。

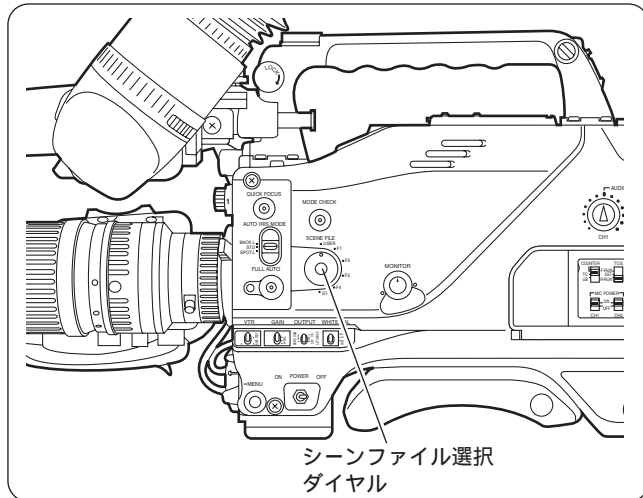
F3 : COOL (クールファイル)
画全体に青みを持たせた、屋外撮影に最適なモードです。

F4 : RETRO (レトロファイル)
画全体に赤みを帯びさせ、懐古的雰囲気にするモードです。

STD : FACTORY (標準ファイル)

シーンファイルの設定方法

シーンファイルの設定変更は、シーンファイル選択ダイヤルとサブメニュー画面の<SCENE FILE>で行います。



シーンファイル名の編集(例: USERファイル)

- 1 シーンファイル選択ダイヤルを回し、変更したいシーンファイルを選択します。
- 2 メニュー操作(34ページ参照)を行い<SCENE FILE>の画面を開きます。
- 3 JOGダイヤルボタンを回して、 を NAME EDIT項目に移動し、JOGダイヤルボタンを押します。

```
▲ < SCENE FILE >
→ NAME EDIT USER:FACTORY
-----
FILE NAME USER:FACTORY
      F1:FLUO.
      F2:SPARKLNG
      F3:COOL
      F4:RETRO
      STD:FACTORY
WRITE(USER) :READY
INIT (USER) :READY
```

- 4 JOGダイヤルボタンを回して、 を変更するファイル名の文字の上まで移動させます。
- 5 JOGダイヤルボタンを押すと、 の位置が点滅して入力モードになります。

```
▲ < SCENE FILE >
→ NAME EDIT USER:FACTORY
-----
FILE NAME USER:FACTORY
      F1:FLUO.
      F2:SPARKLNG
      F3:COOL
      F4:RETRO
      STD:FACTORY
WRITE(USER) :READY
INIT (USER) :READY
```

- 6 設定したい文字が現れるまで、JOGダイヤルボタンを回します。
JOGダイヤルボタンを回すと、文字表示がスペース:
↓
アルファベット: A ~ Z
↓
数字: 0 ~ 9
↓
記号: `、>、<、/、
の順に切り替わります。
- 7 JOGダイヤルボタンを押して、文字を確定します。
- 8 JOGダイヤルボタンを回して、矢印(カーソル)を次の位置(右)に移動し、5~7の操作を繰り返して、文字を設定します。(8文字以内)
↓を→に戻したいときは、↓が:の上にあるときに、JOGダイヤルボタンを押します。

シーンファイル

- 9 JOG ダイヤルボタンを回して、 を WRITE の項目に移動します。

```
▲ < SCENE FILE >
NAME EDIT USER:TARO
-----
FILE NAME USER:FACTORY
          F1:FLUO.
          F2:SPARKLNG
          F3:COOL
          F4:RETRO
          STD:FACTORY
→ WRITE(USER) :READY
   INIT (USER) :READY
```

- 10 JOG ダイヤルボタンを押すと、次のようなメッセージが表示されます。

```
▲ < SCENE FILE >
NAME EDIT USER:TARO
-----
FILE NAME USER:FACTORY
          F1:FLUO.
          F2:SPARKLNG
          F3:COOL
          F4:RETRO
          STD:FACTORY
→ WRITE(USER) :NO
   INIT (USER) :READY
```

- 11 JOG ダイヤルボタンを回して YES に切り換え JOG ダイヤルボタンを押します。

データの書き込みが終了すると、次のようなメッセージが表示されます。

```
▲ < SCENE FILE >
NAME EDIT USER:TARO
-----
FILE NAME USER:TARO
          F1:FLUO.
          F2:SPARKLNG
          F3:COOL
          F4:RETRO
          STD:FACTORY
→ WRITE(USER) :OK
   INIT (USER) :READY
```

< ノート >

NG 表示が出たときは、もう一度 11 の操作をしてください。

- 12 メニュー操作を終了するときは、MENU ボタンを押します。

設定メニューが消え、本機の現在の状態を示す表示が、ビューファインダー画面に表示されます。

シーンファイル名をデフォルトに戻す

JOG ダイヤルボタンを回して、 を INIT の項目に移動し、前項「シーンファイル名の編集」の 10、11 の操作をしてください。

シーンファイル名がデフォルト（工場出荷時の状態）に戻ります。

< ノート >

シーンファイルの設定データもデフォルト値に戻ります。

ファイルセレクトの使い方

シーンファイル以外のメニュー設定パラメータを、最大 4 つまで記憶できます。対象パラメータはメニューの「MAIN 1/2」と、「MAIN 2/2」の項目です。くわしくは「ファイルの設定一覧」(29 ページ参照)をご覧ください。ファイルの書き込み、読み出しはサブメニューの <DATA READ/WRITE> 画面 (37 ページ参照) で行います。工場出荷時は 4 つのファイルにデフォルト値（工場出荷設定）が記憶されています。メニュー操作を行い、サブメニューの <DATA READ/WRITE> 画面を出します。

- 1 JOG ダイヤルボタンを操作して、FILE SELECT の番号を 1 ~ 4 から選択します。

```
▲ < DATA READ/WRITE >
→ FILE SELECT :1
FILE READ (1):READY
FILE WRITE(1):READY
READ FACTORY :READY
```

- 2 ファイルの書き込み、または呼び出しを行います。

- ① 選択したファイル番号に、選択時の本機の設定状態を書き込む場合は、FILE WRITE (*) (* には選択したファイルの番号が入ります) を実行します。
- ② 選択したファイル番号から、本機の設定状態を呼び出す場合は、FILE READ (*) を実行します。
- ③ デフォルト状態に戻す場合は、READ FACTORY を実行します。

操作方法はシーンファイルの設定を参照ください。

シーンファイル

シーンファイルの設定一覧

シーンファイルの工場出荷設定値を、下の表に示します。
USER ファイルを変更するときの参考として使用してください。

設定項目	F1	F2	F3	F4	STD	USER	メモ
<SCENE FILE NAME>	FLUO.	SPARKLNG	COOL	RETRO	FACTORY	FACTORY	
<IRIS/GAMMA>							
A. IRIS LEVEL	0	0	0	0	0	0	
A. IRIS PEAK/AVE	PEAK, 0	PEAK, 0	PEAK, 0	PEAK, 0	PEAK, 0	PEAK, 0	
A. IRIS SPEED	0	0	0	0	0	0	
BLACK STR/PRESS	NORM	NORM	NORM	NORM	NORM	NORM	
MASTER GAMMA	0	0	0	-10	0	0	
<COLOR/SKIN TONE>							
PRE COLOR TEMP	0	0	0	0	0	0	
Ach	0	0	+10	-20	0	0	
Bch	0	0	+10	-20	0	0	
SKIN TONE DTL	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	
SKIN TONE RANGE	NORM	NORM	NORM	NORM	NORM	NORM	
<PROCESS>							
H DETAIL	0	+5	+5	-5	0	0	
V DETAIL	0	+5	+5	-4	0	0	
DTL CORING	0	+5	+5	0	0	0	
H. DTL FREQ.	3 MHz	3 MHz	3 MHz	3 MHz	3 MHz	3 MHz	
MATRIX	B	A	A	A	A	A	
CHROMA LEVEL	+2	+2	0	0	0	0	
CHROMA PHASE	0	0	0	0	0	0	
MASTER PED	0	0	0	0	0	0	
KNEE POINT	88%	88%	88%	88%	88%	88%	
<ADDITIONAL PROCESS>	ADJ	ADJ	ADJ	ADJ	ADJ	ADJ	

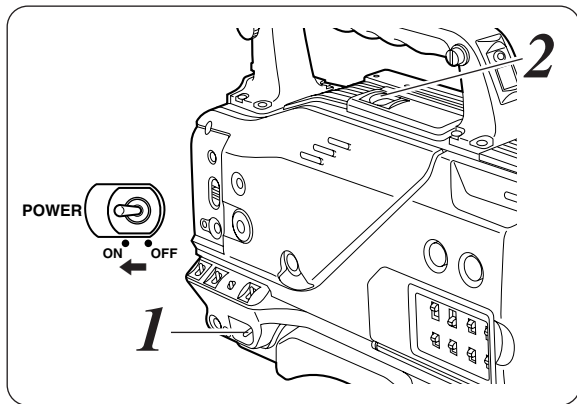
ファイルの設定一覧

ファイルセレクトで選択できる項目を、下の表に示します。
工場出荷設定値は、全てデフォルト値に設定されています。
ファイル番号 1 ~ 4 は、それぞれの使用目的に応じた設定に変更できます。

設定項目	1 ~ 4	メモ	設定項目	1 ~ 4	メモ	設定項目	1 ~ 4	メモ
<SW MODE>			<BATTERY>			<VF DISPLAY 1/2>		
LOW GAIN	0 dB		BATTERY SELECT	NiCd14		FILTER	ON	
MID GAIN	9 dB		TYPE A NEAR END	11.6 V		GAIN	ON	
HIGH GAIN	18 dB		TYPE A END	11.2 V		WHITE BAL	ON	
ATW	OFF		TYPE B NEAR END	13.0 V		COLOR TEMP	ON	
SUPER V	OFF		TYPE B END	12.5 V		IRIS (F Number)	ON	
QUICK FOCUS	ENABLE		<MIC/AUDIO>			ZOOM	ON	
FULL AUTO	ENABLE		FRONT MIC POWER	ON		TCG	TCG/TCR	
SCENE FILE	ENABLE		FRONT MIC	-50 dB		LEVEL METER	CH1+CH2	
<VIDEO IN/OUT>			REAR MIC CH1	-60 dB		TAPE REMAIN	ON	
VIDEO OUT MENU	ON		REAR MIC CH2	-60 dB		BATTERY	VOLT	
VIDEO OUT SEL	ENC		MIC LOWCUT CH1	ON		<VF DISPLAY 2/2>		
INPUT SELECT	CAMERA		MIC LOWCUT CH2	ON		SHUTTER SPEED	ON	
REMOTE SELECT	LOCAL		LINE CH1	-6 dB		IRIS (SPOT, BACK)	ON	
SET UP	0 %		LINE CH2	-6 dB		AUTO/SCENE NAME	ON	
<VTR FUNCTION>			<MARKER/ZEBRA>			LOW LIGHT	ON	
TC MODE	DF		SAFETY ZONE	06		TIME/DATE	OFF	
UB MODE	USER		CENTER MARK	ON		EXTENDER	ON	
FIRST REC TC	REGEN		ZEBRA1 DETECT	70%		AUDIO SAMPLING	ON	
BACK TALLY	ON		ZEBRA2 DETECT	85%		<! LED>		
FF/REW SPEED	x100		ZEBRA2	SPOT		GAIN	W/O 0 dB	
AUDIO SAMPLING	48 K		VF DTL	1		WHITE	OFF	
<VTR OPTION>						SHUTTER	ON	
TIME STAMP	NO-REC					FILTER	NG	
REC TIME	00m05s					EXTENDER	ON	
INTERVAL TIME	00h0m010s					SUPER V	OFF	
PAUSE TIMER	10 min							

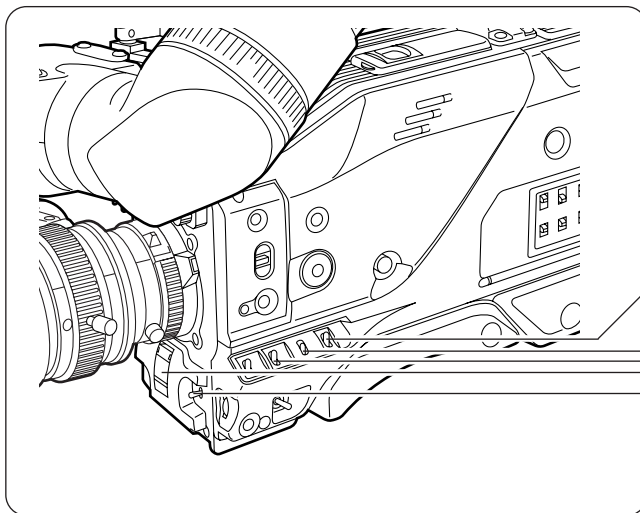
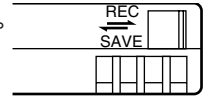
通常の収録

記録の方法



- 1 POWERスイッチをONにします。
- 2 EJECTボタンを押して、カセット収納部を開き、カセットテープを入れます。

- 収録するときは、あらかじめカセットツメが「REC」側になっていることをご確認ください。
- 本機は、標準カセット専用です。



- 3 カメラ部の各スイッチを、次のように切り替えます。

ホワイトバランス切り替えスイッチで、希望のホワイトバランスモードを選びます。

OUTPUT 選択スイッチをCAMにします。

GAIN 切り替えスイッチを被写体の明るさに応じて、切り替えます。

必要に応じて希望のシャッタースピードを選びます。(一般的には、シャッターOFFで使用します。)

ホワイトバランス切り替えスイッチがA、Bのときは、ホワイトバランスを調整します。

- 各スイッチについては「各部の名称と機能」(10～12ページ)を参照ください。

- 4 カメラを被写体に向けて、レンズしぼり、ピントやズームの調整をします。
- 5 VTR START/STOP ボタンを押して、記録を開始します。
- 6 VTR START/STOP ボタンを押して、記録を中断します。

つなぎ撮り

本機では走行させたり、取り出したり、あるいは途中まで記録したテープを使用したつなぎ撮りが可能です。

- 1 ビューファインダーの画面を見ながらPLAY/PAUSEボタンを押します。
テープが再生されます。
- 2 つなぎ撮りをしたいところで再度PLAY/PAUSE(またはSTOP)ボタンを押します。
テープが止まります。

- 3 レンズのRETボタンを押します。
約2秒後につなぎ撮りの準備が整います。
- 4 VTR STARTボタン、またはレンズのVTRボタンを押します。
記録を開始します。

音声の記録

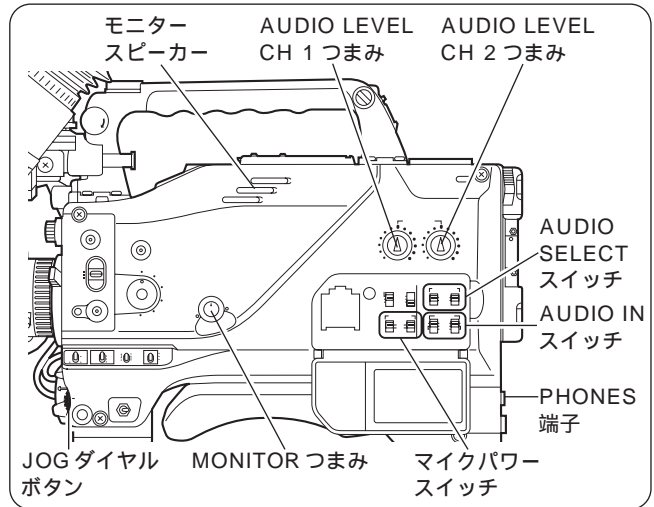
音声入力信号の選択

1 AUDIO IN スイッチで、希望の入力信号を選択します。

フロントマイクロホンを使用するとき	→ FRONT (MIC)
外部マイクロホンを使用するとき	→ REAR (MIC)
オーディオ機器を使用するとき	→ REAR (LINE)

< ノート >

- フロントマイク選択時、ファントムマイク (+48V) 対応が必要なときは、サブメニュー項目 <MIC/AUDIO> の「FRONT MIC POWER」を ON にしてください。(39 ページ参照)
- 外部マイク選択時、ファントムマイク (+48V) 対応が必要なときは、マイクパワースイッチを ON にしてください。



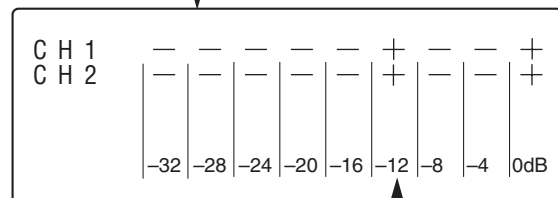
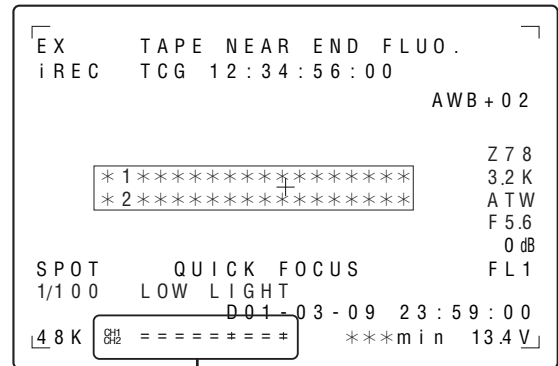
録音レベルの調整

AUTO SELECT CH 1/CH 2 切り替えスイッチを「AUTO」にすると、音声 CH 1/CH 2 の入力レベルは自動的に調整されます。

音声チャンネル 1, 2 のレベルを手動で調整する場合は、次の操作を行います。

1 AUDIO SELECT CH 1/CH 2 切り替えスイッチを「MAN」にします。

2 ビューファインダー内のオーディオレベルメーター表示を見ながら、最大入力レベルが“- - - - - + - - - +”にならないように、AUDIO LEVEL CH1/CH2 つまみを調整します。



基準値

記録時の音声モニター

音声入力信号をモニタースピーカー、またはイヤホンで確認できます。PHONES 端子を使用すると、モニタースピーカーからは出力しません。

MONITOR つまみでモニター部の音量を調節できます。

< ノート >

オーディオモニタースピーカーの音量が大きい場合、ハウリングを起こすことがあります。このようなときは、オーディオモニターレベルコントロールを回して、ハウリングしないレベルまで絞ってご使用ください。

再生 (記録内容のチェック)

PLAY/PAUSE ボタンを押すと、ビューファインダーで白黒の再生画面を見ることができます。同時に VIDEO OUT 端子からはカラーの再生画面を見ることができます。

レックレビュー

記録を一時停止し、レンズの RET ボタンを押すと、最後の 2 秒間が自動的に巻き戻され、その部分の再生画像がビューファインダーに出ます。これにより、記録が正しく行われたかどうかを確認できます。

再生後は、再び記録開始待ちの状態になります。

RET ボタンを押し続けると、最高 10 秒間まで巻き戻して再生します。

< ノート >

- 1 秒間以上記録されていない場合は、レックレビュー機能は使用できません。
- レックレビュー動作の間は、ビューファインダーだけでなく映像出力端子 (VIDEO OUT 端子、S-VIDEO 端子) にもレックレビューの画像が出力されます。バックアップ VTR を接続してバックアップ画像を記録中の場合、このレックレビューの画像が記録されてしまいますので、ご注意ください。

その他の機能

静止画再生

再生中に PLAY ボタンを押すと PLAY ランプが点滅し、STILL になり、静止画が再生できます。

さらに PLAY ボタンを押すとノーマル再生に戻ります。

INTERVAL REC (間欠記録) 機能

簡易のインターバル撮影 (間欠記録) をすることが可能です。特に自然を題材にした番組や美術番組の撮影に効果を発揮します。

INTERVAL REC 機能は、サブメニューの <VTR OPTION> 画面で設定します。

- INTERVAL REC
INTERVAL REC 機能の ON/OFF/ONE-SHOT を設定します。
- REC TIME
インターバル撮影の記録時間 (1 カット) を設定します。
- INTERVAL TIME
インターバル撮影の記録一時停止時間を設定します。

上記の項目が設定されると、INTERVAL REC モードになり、ビューファインダー内の「i」が点滅を始めます。

VTR START ボタンを押すと、インターバル撮影が開始され、「i」が「i REC」に切り替わり点灯します。

最初のインターバル撮影が終了して、記録一時停止状態になると、ビューファインダー内の「i REC」が点滅に切り替わります。

「i REC」設定時は POWER/WARNING LED がグリーンで点滅になります。

< ノート >

INTERVAL REC を解除するには記録中に VTR START ボタンを押すか、記録一時停止中に STOP ボタンを押します。解除が終了するまでは、他の操作を受け付けません。

変速 (FF/REW) 再生

● 再生時、FF (早送り) / REW (巻き戻し) ボタンを押すと、4 倍速再生/逆再生になります。さらに押すと、8 倍速再生/逆再生になります。

● さらに押すことにより、4 倍速と 8 倍速再生/逆再生が交互に切り換えられます。

INDEX SEARCH モード

頭出し (インデックス) 部分のサーチが可能です。

- 停止状態でモードチェックボタンを押しながら REW/FF ボタンを押します。
- INDEX SEARCH 動作中は、ビューファインダー内のテープ残量表示位置に “IND+001” などの表示が出ます。+ は FWD 方向、- は REW 方向を示し、数字はあと何回インデックスを検出してストップするかを示しています。
- REW/FF ボタンを押した回数だけ前/先のインデックス部分をサーチします。
例) REW ボタンを 3 回押す。

停止部分から 3 つ前のインデックス部分をサーチする。(ビューファインダー内表示: IND - 003)

FF ボタンを 2 回押す。

停止部分から 2 つ先のインデックス部分をサーチする。(ビューファインダー内表示: IND + 002)

- 途中でインデックスサーチを中止したい場合は、STOP ボタンを押してください。押された時点の位置で停止します。

< ノート >

INDEX SEARCH の最大は REW 方向で - 127、FWD 方向で + 128 になります。

外部機器と使う

DV 端子付きビデオ機器とつなく

DV ケーブルを使用して DV 端子付きビデオ機器を接続することで、本機を再生機、または録画機として使用することが可能です。いずれの場合も接続は下図を参照して行ってください。

本機を再生機として使用する

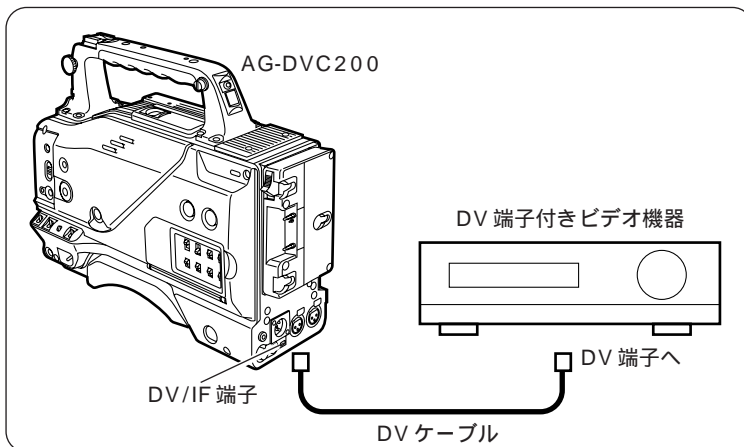
サブメニューの <VIDEO IN/OUT> 画面の REMOTE SELECT を 1394 に設定します。(38 ページ参照)

外部の DV 端子付きビデオ機器からのコントロールを受けることができます。

本機を録画機として使用する

サブメニューの <VIDEO IN/OUT> 画面の INPUT SELECT を 1394 に設定します。(38 ページ参照)

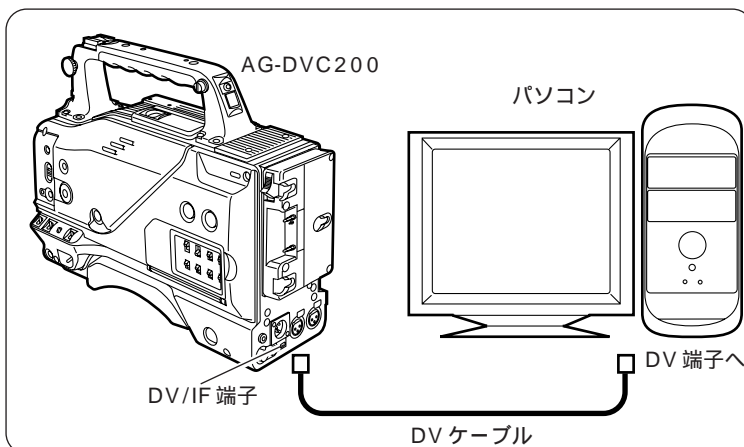
外部の DV 端子付きビデオ機器の映像、音声を記録することができます。



ノンリニア編集可能なパソコンとつなく

DV ケーブルを使用してノンリニア編集可能なパソコンを接続することで、パソコンからのコントロールが可能になり、映像、音声の入出力が可能になります。

サブメニューの <VIDEO IN/OUT> 画面の REMOTE SELECT と INPUT SELECT をそれぞれ 1394 に設定し、下図を参照して接続を行ってください。(38 ページ参照)



< ノート >

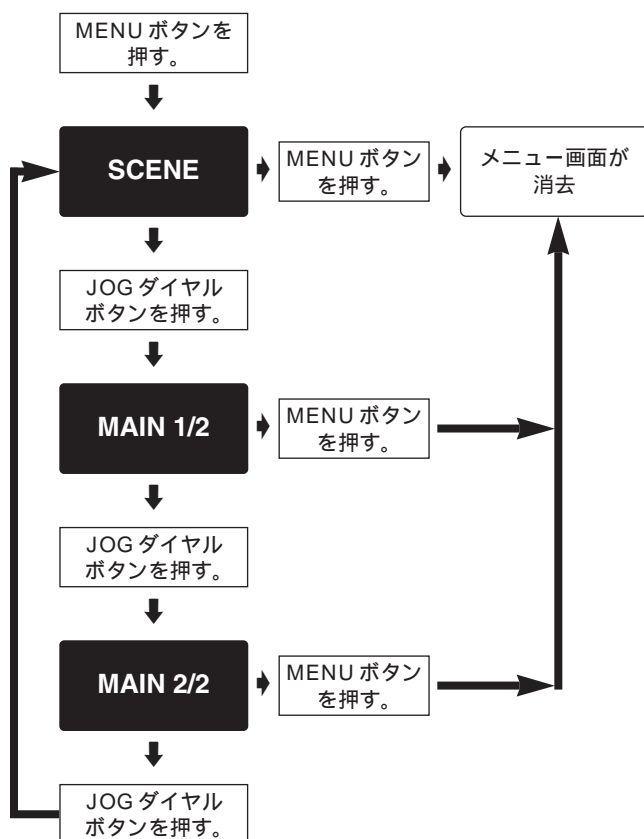
本機を DV ケーブルで外部機器と接続する場合、本機の応答性を高めるため VTR STBY/SAVE スイッチを「STBY」側でご利用ください。

メニュー操作

設定メニューの操作は、MENU ボタンと JOG ダイアルボタンで操作します。メニューの構成は、メインメニューとサブメニューに分かれます。設定されたデータは、不揮発性メモリーに書き込まれ、長期間保存されます。

メニューの表示/非表示

- 1 MENU ボタンを押します。
メインメニュー画面の「SCENE」画面が表示されます。
- 2 JOG ダイアルボタンを押すと、メインメニュー画面の「MAIN 1/2」画面が表示されます。
- 3 JOG ダイアルボタンを押すと、メインメニュー画面の「MAIN 2/2」画面が表示されます。
- 4 さらに JOG ダイアルボタンを押すと、「SCENE」画面に戻ります。
- 5 メニュー画面を消去するには、MENU ボタンを押してください。



サブメニューを表示し、設定値を決める

- 1 メインメニュー画面が表示されている状態で、JOG ダイアルボタンを回します。
サブメニューの項目にカーソルが移動します。
- 2 希望するサブメニューの項目にカーソルを移動して、JOG ダイアルボタンを押します。
サブメニュー画面が表示されます。(カーソルはサブメニューのタイトル部分に表示されます)

例： JOG ダイアルボタンを回す。

```
NEXT**** MAIN 2/2 ****
->MARKER/ZEBRA..
VF DISPLAY 1/2..
VF DISPLAY 2/2..
! LED..
GENLOCK..
CAMERA ID..
TIME/DATE..
DIAGNOSTIC..
```

- 3 JOG ダイアルボタンを回して、設定を希望する項目にカーソルを移動し、JOG ダイアルボタンを押します。設定値が点滅します。

例： JOG ダイアルボタンを回す。

```
▲ < MARKER/ZEBRA >
-> SAFETY ZONE :06
CENTER MARK :ON
ZEBRA1 DETECT :070%
ZEBRA2 DETECT :085%
ZEBRA2 :SPOT
VF DTL :1
```

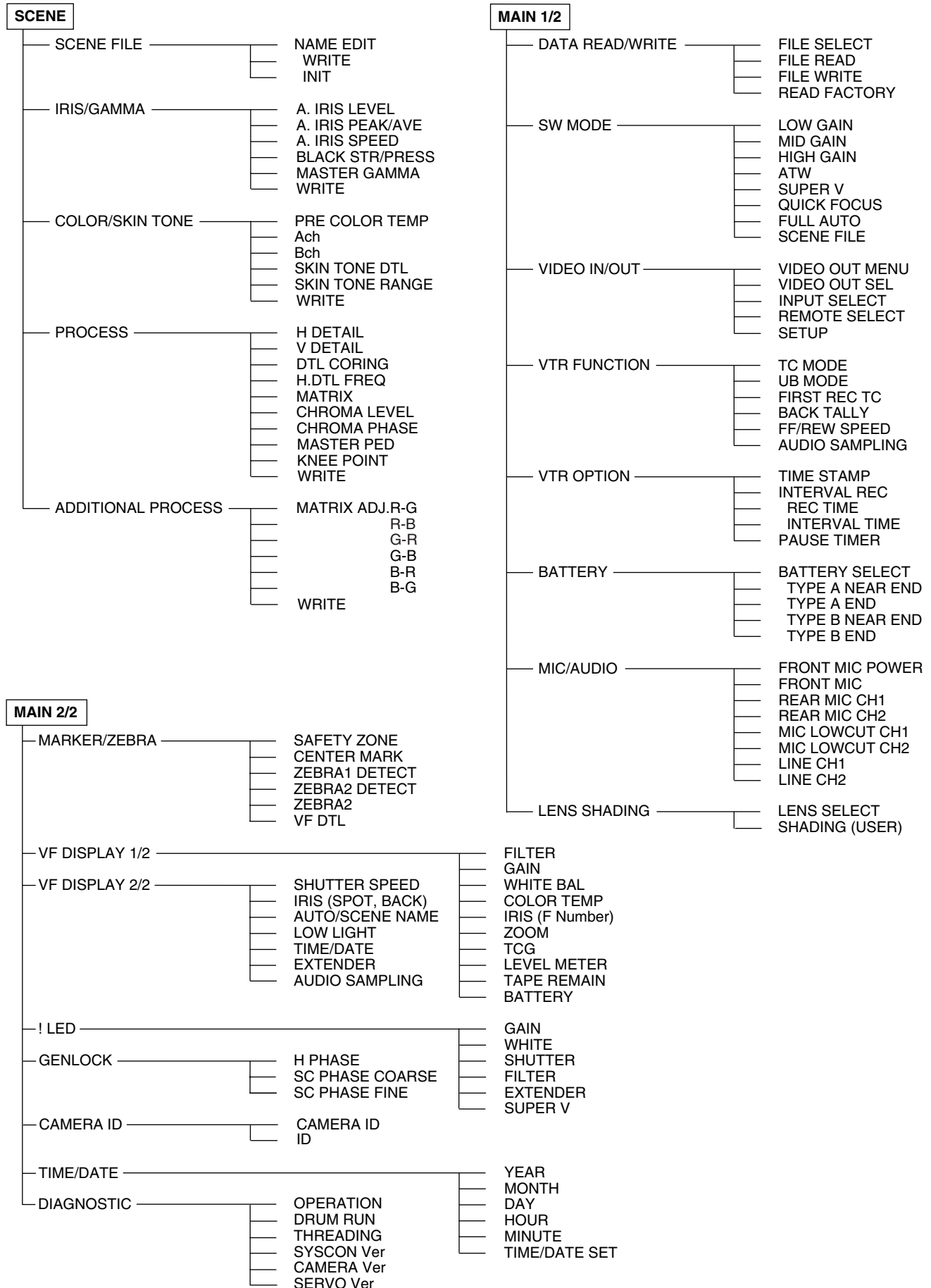
- 4 JOG ダイアルボタンを回して、設定値を変更し、希望の設定値で、JOG ダイアルボタンを押します。設定値が確定します。

例： JOG ダイアルボタンを回す。

```
▲ < MARKER/ZEBRA >
-> SAFETY ZONE :06
CENTER MARK :ON
ZEBRA1 DETECT :070%
ZEBRA2 DETECT :085%
ZEBRA2 :SPOT
VF DTL :1
```

- 5 他に設定を希望する項目がある場合は、JOG ダイアルボタンを回してカーソルを移動し、3～4の手順で、設定値を決めます。
- 6 他のサブメニューに移動する場合は、JOG ダイアルボタンを回してカーソルをサブメニューのタイトル部分に移動し、JOG ダイアルボタンを押します。
メインメニュー画面が表示されますので、同様の手順で操作を行ってください。
- 7 設定が終了すると、MENU ボタンを押します。
設定値が記録され、設定メニューモードが終了し、通常の操作モードに戻ります。

設定メニューの構成



メニュー内容

SCENE メニュー (メインメニュー)

```

->NEXT**** SCENE ****
          F1:FLUO.
SCENE FILE..
IRIS GAMMA..
COLOR/SKIN TONE..
PROCESS..
ADDITIONAL PROCESS..
    
```

SCENE FILE

項目	可変範囲	備考
NAME EDIT	USER F1 ~ F4 STD	シーンファイル名の編集。 くわしくは「シーンファイル名の編集」 (27 ページ)をご覧ください。
WRITE		シーンファイル名の書き込みを実行します。
INIT		シーンファイル名を工場出荷時の状態に戻します。

IRIS/GAMMA

項目	可変範囲	備考
A. IRIS LEVEL	-10 : +00 : +10	AUTO IRIS 目標値の設定。 この値で、明るさ (IRIS) をコントロールします。 数値が大きいほど明るくなります。
A. IRIS PEAK/AVE	AVE 10 : 01 PEAK 00 : 10	AUTO IRIS のピーク値制御と平均値制御の割合の設定。 AVE が 10 のとき完全平均値制御になり、PEAK が 10 のとき完全ピーク値制御になります。
A. IRIS SPEED	-2 : +0 : +2	AUTO IRIS のスピードの設定。
BLACK STR/PRESS	PRESS NORM STR	低照度の黒の立ち上がりを選択。 PRESS : 黒を圧縮し、しまりのある映像にします。 NORM : 標準設定 STR : 黒を伸長し、暗部の階調表現を増します。
MASTER GAMMA	-17 : +00 : +03	マスターガンマの設定。
WRITE		データの書き込みを実行します。

COLOR/SKIN TONE

項目	可変範囲	備考
PRE COLOR TEMP	-30 : +00 : +30	WHITE BAL スイッチが PRE の位置にあるときの、ホワイトバランスからの色温度微調整。 ATW モードのときは機能しません。
Ach	-30 : +00 : +30	WHITE BAL スイッチが A の位置にあるときの、ホワイトバランスからの色温度微調整。 ATW モードのときは機能しません。
Bch	-30 : +00 : +30	WHITE BAL スイッチが B の位置にあるときの、ホワイトバランスからの色温度微調整。 ATW モードのときは機能しません。
SKIN TONE DTL	ON OFF	肌色ディテールの ON/OFF 切り替え。 肌色ディテールを ON にすると、肌色部分のディテールが減少し、肌のざらざら感を少なくします。 <ノート> SKIN TONE DTL が ON で、SKIN TONE RANGE を操作したときに、10 秒間 SKIN TONE ZEBRA が表示されます。
SKIN TONE RANGE	NORM WIDE	肌色ディテール範囲の設定。 NORM : 通常範囲 WIDE : 広い範囲
WRITE		データの書き込みを実行します。

_____ は、工場出荷時の設定モードです。

メニュー内容

SCENE メニュー (メインメニュー)

PROCESS

項目	可変範囲	備考
H DETAIL	-10 : : <u>+00</u> : : +10	水平方向のディテール量の設定。
V DETAIL	-06 : : <u>+00</u> : : +10	垂直方向のディテール量の設定。
DTL CORING	-2 : : <u>+0</u> : : +8	ディテールコアリング量の設定。
H.DTL FREQ.	2MHz 3MHz 4MHz	水平方向のディテールブースト周波数の設定。
MATRIX	A B ADJ	色補正 MATRIX テーブルの選択。 A : 標準設定 B : 蛍光灯下の撮影用 ADJ : <ADDITIONAL PROCESS> で設定した MATRIX の値になります。
CHROMA LEVEL	-2 : : <u>+0</u> : : +2	クロマレベルの設定。
CHROMA PHASE	-31 : : <u>+00</u> : : +31	クロマ位相の設定。 + 方向で肌色が赤方向になります。
MASTER PED	-26 : : <u>+00</u> : : +26	マスターペダスタルのレベル設定。
KNEE POINT	<u>90%</u> : : 100%	ニーポイントの位置設定。
WRITE		データの書き込みを実行します。

ADDITIONAL PROCESS

項目	可変範囲	備考
MATRIX ADJ. R-G R-B G-R G-B B-R B-G	<u>+00</u> <u>+00</u> <u>+12</u> <u>+00</u> <u>+00</u> <u>+00</u>	<PROCESS>の「MATRIX」を ADJ に選択したときに有効で、 MATRIX テーブルを-34 ~ +28 の 範囲内で調整、設定可能です。
WRITE		データの書き込みを実行します。

MAIN 1/2 メニュー (メインメニュー)

→NEXT**** MAIN 1/2 ****

```
DATA READ/WRITE..
SW MODE..
VIDEO IN/OUT..
VTR FUNCTION..
VTR OPTION..
BATTERY..
MIC/AUDIO..
LENS SHADING..
```

DATA READ/WRITE

項目	可変範囲	備考
FILE SELECT	1/2/3/4	メニュー設定パラメータを記憶させます。くわしくは「ファイルセレクトの使い方」(28 ページ)をご覧ください。

SW MODE

項目	可変範囲	備考
LOW GAIN	<u>0dB</u> : : 36dB	LOW GAIN スイッチに割り当てるゲインの設定。 0 ~ 36dB の選択が可能です。
MID GAIN	<u>0dB</u> : <u>9dB</u> : : 36dB	MID GAIN スイッチに割り当てるゲインの設定。 0 ~ 36dB の選択が可能です。
HIGH GAIN	<u>0dB</u> : : <u>18dB</u> : : 36dB	HIGH GAIN スイッチに割り当てるゲインの設定。 0 ~ 36dB の選択が可能です。
ATW	PRE Ach Bch <u>OFF</u>	WHITE BAL スイッチのどのポジションのときにフルタイムオートホワイトバランスを有効にするかの設定。 PRE : PRE で ATW を有効にします。 Ach : Ach で ATW を有効にします。 Bch : Bch で ATW を有効にします。 OFF : フルタイムオートバランスを行わない。
SUPER V	ON <u>OFF</u>	垂直高解像度モードの選択。
QUICK FOCUS	<u>ENABLE</u> DISABLE	クイックフォーカス機能の有効/無効の選択。
FULL AUTO	<u>ENABLE</u> DISABLE	フルオート機能の有効/無効の選択。
SCENE FILE	<u>ENABLE</u> DISABLE	シーンファイル機能の有効/無効の選択。 ENABLE : シーンファイル機能が有効。 DISABLE : シーンファイル機能が USER FILE 限定になります。

_____ は、工場出荷時の設定モードです。

メニュー内容

MAIN 1/2 メニュー (メインメニュー)

VIDEO IN/OUT

項目	可変範囲	備考
VIDEO OUT MENU	ON OFF	VIDEO OUT 端子に、メニュー画面を出力するかの選択。 ON : 出力する。 OFF : 出力しない。 <ノート> この項目は次項目の「VIDEO OUT SEL」がENCのときのみ有効です。
VIDEO OUT SEL	ENC VF	VIDEO OUT 端子に VTR 出力するか VF 出力するかを選択。 ENC : VTR 出力 VF : VF 出力
INPUT SELECT	CAMERA 1394	記録する VTR の入力信号の選択。 CAMERA : 本機のカメラ信号 1394 : 1394 からの信号
REMOTE SELECT	LOCAL 1394	VTR 制御の選択。 LOCAL : 本体のみの制御 1394 : 1394 からの制御
SET UP	0% 7.5%	CAM OUT/VIDEO OUT 出力のセットアップの選択。 7.5% 選択時はテープにも 7.5% のセットアップが付きます。

VTR FUNCTION

項目	可変範囲	備考
TC MODE	DF NDF	タイムコードを DF にするか NDF にするかを選択。 DF : ドロップフレームモード NDF : ノンドロップフレームモード
UB MODE	USER TIME DATE TCG	ユーザーズピットエリアの記録内容選択。 USER : ユーザー設定値 (固定値) TIME : 時/分/秒のリアルタイム値 DATE : 年/月/日/時のリアルタイム値 TCG : タイムコードジェネレーター値
FIRST REC TC	REGEN PRESET	記録開始時の TC REGEN モードを設定。 REGEN : テープ上のタイムコードにリジェネします。 PRESET : テープ上のタイムコードにリジェネを行いません。ただし REC/PAUSE から REC になったときは強制的にリジェネします。
BACK TALLY	ON OFF	バックタリーランプ点灯の選択 ON : 点灯する OFF : 点灯しない
FF/REW SPEED	x32 x64 x100	早送り・巻き戻しの速度を設定。 x32 : 32 倍速 x64 : 64 倍速 x100 : 100 倍速
AUDIO SAMPLING	32K 48K	オーディオサンプリング周波数の選択 32K : 32KHz 48K : 48KHz

は、工場出荷時の設定モードです。

VTR OPTION

項目	可変範囲	備考
TIME STAMP	REC NO-REC	CAMERA 映像の記録に、日時を重畳するかの選択。 REC : 重畳する NO-REC : 重畳しない <ノート> REC 選択時は記録する日時の種類を <VF DISPLAY 2/2> の TIME/DATE で選択してください。
INTERVAL REC	OFF ON ONE-SHOT	間欠記録を行うかどうかの設定。 ON : 行う OFF : 行わない ONE-SHOT : 1 回だけ REC TIME で設定した時間記録を行い、停止します。
REC TIME	00m05s : 59m59s	間欠記録の記録時間設定。 <ノート> 「REC TIME」の項目は、「INTERVAL REC」が、ON または ONE-SHOT の時のみ有効です。
INTERVAL TIME	00h00m10s : 23h59m59s	間欠記録時の REC PAUSE 時間の設定。 <ノート> 「INTERVAL TIME」の項目は、「INTERVAL REC」が ON の時のみ有効です。
PAUSE TIME	3min 6min 10min	REC PAUSE から SAVE するまでの時間の設定。

BATTERY

項目	可変範囲	備考
BATTERY SELECT	NiCd12 NiCd13 NiCd14 TYPE A TYPE B	使用するバッテリーの種類を選択。 NiCd12 : SONY 社製 NP-1B NiCd13 : Anton 社製 TRIM13 NiCd14 : Anton 社製 TRIM14 TYPE A : AJ-BP490 TYPE B : Anton 社製デジタル 14V (ハイトロン 100)
TYPE A NEAR END	11.0V : 11.6V : 15.0V	タイプ A の電圧指定。ここで設定した電圧になると、残りわずかと見なし警告を表示します。11.0V ~ 15.0V で設定します。
TYPE A END	11.0V : 11.2V : 15.0V	タイプ A の電圧指定。ここで設定した電圧になると、バッテリー消耗と見なし、警告を表示します。11.0V ~ 15.0V で設定します。
TYPE B NEAR END	11.0V : 13.0V : 15.0V	タイプ B の電圧指定。ここで設定した電圧になると、残りわずかと見なし警告を表示します。11.0V ~ 15.0V で設定します。
TYPE B END	11.0V : 12.5V : 15.0V	タイプ B の電圧指定。ここで設定した電圧になるとバッテリー消耗と見なし、警告を表示します。11.0V ~ 15.0V で設定します。

メニュー内容

MAIN 1/2 メニュー (メインメニュー) MAIN 2/2 メニュー (メインメニュー)

MIC/AUDIO

項目	可変範囲	備考
FRONT MIC POWER	ON OFF	ON : フロントマイクにファントム電源を供給します。 OFF : フロントマイクにファントム電源を供給しません。
FRONT MIC	-40dB -50dB -60dB	カメラマイク入力レベルの選択。
REAR MIC CH1	-40dB -50dB -60dB	リアジャック AUDIO CH1 入力のマイクレベルの設定。
REAR MIC CH2	-40dB -50dB -60dB	リアジャック AUDIO CH2 入力のマイクレベルの設定
MIC LOWCUT CH1	ON OFF	ON : CH1 マイク入力にローカットフィルターを ON します。 OFF : CH1 マイク入力にローカットフィルターを OFF します。
MIC LOWCUT CH2	ON OFF	ON : CH2 マイク入力にローカットフィルターを ON します。 OFF : CH2 マイク入力にローカットフィルターを OFF します。
LINE CH1	+4dB 0dB -6dB	リアジャック AUDIO CH1 入力のライン入力レベルの選択。
LINE CH2	+4dB 0dB -6dB	リアジャック AUDIO CH2 入力のライン入力レベルの選択。

LENS SHADING

項目	可変範囲	備考
LENS SELECT	A B C USER	本機に取り付けるレンズのタイプの選択。 A : S18 × 6.7BERM4 S18 × 6.7BRM4 S19 × 6.5BERM4 S19 × 6.5BRM4 YH18 × 6.7IRS YH12 × 4.8IRS B : YH18 × 6.7KRS YH14 × 7.3KRS YH12 × 4.8KRS S14 × 7.5BRM4 S17 × 6.6BRM4 C : S14 × 7.3BRM USER : A, B, C 以外のレンズ。
SHADING (USER)		USER レンズのシェーディング補正を実行します。

```

->NEXT**** MAIN 2/2 ****

MARKER/ZEBRA..
VF DISPLAY 1/2..
VF DISPLAY 2/2..
! LED..
GENLOCK..
CAMERA ID..
TIME/DATE..
DIAGNOSTIC..
    
```

MARKER/ZEBRA

項目	可変範囲	備考
SAFETY ZONE	OFF 01 : 06 : 09	セーフティマーカの形状の選択 OFF : マーカを表示しない 01 : 80 と 90 % のコーナー表示 02 : 80 % のコーナー表示 03 : 90 % のコーナー表示 04 : 80 と 90 % のボックス表示 05 : 80 % のボックス表示 06 : 90 % のボックス表示 07 : 16:9 の画枠と 16:9 の 90 % 表示 08 : 16:9 の画枠と 16:9 の 80 % 表示 09 : 16:9 の画枠 (100 %) 表示
CENTER MARK	ON OFF	センターマーカ表示の ON/OFF 設定 ON : 表示する OFF : 表示しない
ZEBRA1 DETECT	070% : 104%	ゼブラ 1 が出る境界の設定。
ZEBRA2 DETECT	071% : 085% : 105%	次項目の「ZEBRA2」で SPOT または OFF に設定した。 ゼブラ 1 が出る境界の設定。 次項目の「ZEBRA2」で ON に設定した。 ゼブラ 1 に切り替わる境界レベルの設定 <ノート> 必ず「ZEBRA1 DETECT」のレベルより「ZEBRA2 DETECT」のレベルを高く設定してください。
ZEBRA2	ON OFF SPOT	ゼブラ 2 の種類選択 ON : ゼブラ 1, 2 が表示される。 OFF : ゼブラ 1 のみが表示される。 SPOT : 「ZEBRA1 DETECT」で設定されたレベルから「ZEBRA2 DETECT」で設定されたレベルまでゼブラ 1 が表示される。
VF DTL	1 2 3 OFF	VF DTL の選択。 数値が大きくなるほど VF 用の信号ディテールをさらに強調します。 OFF に設定するとディテール信号を出力しません。

_____ は、工場出荷時の設定モードです。

メニュー内容

MAIN 2/2 メニュー (メインメニュー)

VF DISPLAY 1/2

ビューファインダー画面内の表示情報を選択します。

項目	可変範囲	備考
FILTER	<u>ON</u> OFF	フィルターポジション表示の ON / OFF 選択。 ON : 表示する OFF : 表示しない
GAIN	<u>ON</u> OFF	ゲインスイッチポジション表示の ON / OFF 選択。 ON : 表示する OFF : 表示しない
WHITE BAL	<u>ON</u> OFF	WHITE BAL スイッチポジション、および ATW 表示の ON / OFF 選択。 ON : 表示する OFF : 表示しない
COLOR TEMP	<u>ON</u> OFF ATW ONLY	色温度と色温度微調整量表示の ON / OFF 選択。 ON : 表示する OFF : 表示しない ATW ONLY : ATW のときのみ表示し、色温度微調整量は表示しない。
IRIS (F Number)	<u>ON</u> OFF	F 値表示の ON / OFF 選択。 ON : 表示する OFF : 表示しない
ZOOM	<u>ON</u> OFF	ズーム表示の ON / OFF 選択。 ON : 表示する OFF : 表示しない
TCG	TCG TCR <u>TCG/TCR</u> OFF	タイムコード表示の ON / OFF 選択。 TCG : EE 時のみ、TC / UB / COUNTER スイッチで設定した数値を表示します。 TCR : VV 時のみ、TC / UB / COUNTER スイッチで設定した数値を表示します。 TCG/TCR : TC / UB / COUNTER スイッチの設定に応じて、EE 時は TCG / UBG / COUNTER の値を表示し、VV 時は TCR / UBR / COUNTER の値を表示します。 OFF : 表示しない。
LEVEL METER	OFF CH1 CH2 <u>CH1+CH2</u>	オーディオレベルメータの表示の ON / OFF 選択。 OFF : 表示しない CH1 : CH1 のみを表示する CH2 : CH2 のみを表示する CH1+CH2 : CH1 と CH2 両方を表示する。
TAPE REMAIN	<u>ON</u> OFF	テープの種別および残量表示の ON / OFF 選択。 ON : 表示する OFF : 表示しない
BATTERY	<u>VOLT</u> BAR OFF	バッテリーの残量表示方法を選択します。 VOLT : 電圧で表示する BAR : "■" で表示する OFF : 表示しない

VF DISPLAY 2/2

ビューファインダー画面内の表示情報を選択します。

項目	可変範囲	備考
SHUTTER SPEED	<u>ON</u> OFF	シャッター ON の時、シャッタースピード表示の ON / OFF 選択。 ON : 表示する OFF : 表示しない
IRIS (SPOT, BACK)	<u>ON</u> OFF	オートアイリス選択スイッチが SPOT.L か BACK.L のとき、それを表示するかを選択。 ON : 表示する OFF : 表示しない
AUTO/SCENE NAME	<u>ON</u> OFF	FULL AUTO、または SCENE FILE が選択をされているときの、AUTO、または SCENE FILE 名表示の ON / OFF 選択。 ON : 表示する OFF : 表示しない
LOW LIGHT	<u>ON</u> OFF	低光量での撮影時、LOW LIGHT 表示の ON / OFF 選択。 ON : 表示する OFF : 表示しない
TIME/DATE	TIME DATE TIME+DATE <u>OFF</u>	カメラ映像出力時に、日付・時間の表示するかを選択。 TIME : 時間のみを表示する。 DATE : 日付のみを表示する。 TIME+DATE : 日付と時間を表示する。 OFF : 表示しない。 <ノート> <VTR OPTION> の TIME STAMP で「REC」が選択されているときは、本項目で選択された表示内容が、カメラ映像に重畳されて記録されます。
EXTENDER	<u>ON</u> OFF	EXTENDER ON 時、EXT 表示の ON / OFF 選択。 ON : 表示する OFF : 表示しない
AUDIO SAMPLING	<u>ON</u> OFF	サンプリング周波数表示の ON / OFF 選択。 ON : 表示する OFF : 表示しない

_____ は、工場出荷時の設定モードです。

メニュー内容

MAIN 2/2 メニュー

! LED

ビューファインダー画面内の! LED 表示を選択します。

項目	可変範囲	備考
GAIN	OFF W/O 0dB	ゲインが 0dB 以外の設定時の、! LED 表示の ON/OFF 選択。 OFF : 表示しない W/O 0dB : 0dB 以外のとき表示する。
WHITE	ATW PRE OFF	WHITE BAL スイッチが PRE のポジションにあるか、ATW が設定されているときの、! LED 表示の ON/OFF 選択。 ATW : ATW モード時、表示します。 PRE : PRE 設定時、表示します。 OFF : 表示しません。
SHUTTER	ON OFF	シャッター ON 時の、! LED 表示の ON/OFF 選択。 ON : 表示する OFF : 表示しない
FILTER	OFF W/O No 1 No 1 NG	フィルターに関する! LED 表示の ON/OFF 選択。 OFF : 表示しない W/O No 1 : FILTER 1 以外のとき表示する。 No 1 : FILTER 1 のとき表示する。 NG : フィルターポジションが不定のときに表示します。
EXTENDER	ON OFF	EXTENDER ON 時、! LED 表示の ON/OFF 選択。 ON : 表示する OFF : 表示しない
SUPER V	ON OFF	SUPER V ON 時、! LED 表示の ON/OFF 選択。 ON : 表示する OFF : 表示しない

GENLOCK

項目	可変範囲	備考
H PHASE	000 : 200 : 255	ゲンロック時の水平同期位相の微調整。
SC PHASE COARSE	00 : 07 : 15	ゲンロック時のパースト位相の粗調整。
SC PHASE FINE	000 : 128 : 255	ゲンロック時のパースト位相の微調整。

CAMERA ID

項目	可変範囲	備考
CAMERA ID	ID ID+ (TIME+ DATE) OFF	カラーバー時の ID データ表示、記録 ID : ID データを表示し、記録する。 ID+ (TIME+DATE) : ID データと日時を表示し、記録する。 OFF : 表示・記録ともしない。

TIME/DATE

項目	可変範囲	備考
YEAR	00 : 01 : 99	年の設定
MONTH	01 : 12	月の設定
DAY	01 : 31	日の設定
HOUR	00 : 23	時の設定
MINUTE	00 : 59	分の設定

DIAGNOSTIC

項目	可変範囲	備考
OPERATION		VTR の ON 時間。(時間単位)
DRUM RUNNING		シリンダーの回転時間。(時間単位)
THREADING		ローディング/アンローディングの回数。
SYSCON Ver		SYSCON ソフトバージョン表示
CAMERA Ver		CAMERA ソフトバージョン表示
SERVO Ver		SERVO ソフトバージョン表示

_____ は、工場出荷時の設定モードです。

警告システム

電源を入れた直後や操作中に異常が検出されると、WARNING ランプ、ビューファインダー内のランプが異常発生を知らせます。

■ SLACK

WARNING ランプ	1 秒間に 4 回点滅します。
タリーランプ	1 秒間に 4 回点滅します。
ビューファインダー	SLACK 表示が点滅します。
警告内容	モータ、フレノイドなどのメカニズム関連の異常です。
VTR 部の動作	停止します。 ソレノイドの異常を検出したときは、電源が切れます。
対 策	ビューファインダー表示のエラーコード (44 ページ参照) を確認し、最寄りのサービスセンターにご相談ください。

■ SERVO

WARNING ランプ	1 秒間に 4 回点滅します。(記録中と再生中)
タリーランプ	1 秒間に 4 回点滅します。(記録中と再生中)
ビューファインダー	SERVO 表示が点滅します。(記録中と再生中)
警告内容	サーボが乱れています。
VTR 部の動作	動作を継続しますが、正しく動作しない場合があります。
対 策	電源を切り、販売店にご相談ください。 テープ走行開始時に、警告表示が一瞬点滅して消える場合がありますが、異常ではありません。

■ REC WARNING

WARNING ランプ	1 秒間に 4 回点滅します。(記録中に 3 秒間以上)
タリーランプ	1 秒間に 4 回点滅します。(記録中に 3 秒間以上)
ビューファインダー	REC WARNING 表示が点滅します。(記録中に 3 秒間以上)
警告内容	記録制御信号の異常です。
VTR 部の動作	記録を継続しますが、警告が表示されている間は、正しく記録できない場合があります。
対 策	本機内部の制御信号異常です。 最寄りのサービスセンターにご相談ください。


■ HUMID

WARNING ランプ	<ul style="list-style-type: none"> 結露を検出したときに点灯します。 結露検出解除後、10 分から 90 分の間は 1 秒間に 1 回点滅します。
タリーランプ	<ul style="list-style-type: none"> 結露検出から結露検出解除後の 10 分までは 1 秒間に 4 回点滅します。 結露検出解除後 10 分経過後、消灯します。
ビューファインダー	結露検出から結露検出解除後 90 分までは HUMID 表示が点滅します。
警告内容	結露が発生しています。
VTR 部の動作	記録動作は継続しますが、テープ貼り付きを起こすと、記録を停止します。 結露検出解除後 80 分間は、ドラムを回転させ動作を受け付けません。
対 策	テープ走行を停止し、電源を切ってください。 再度電源を入れても、HUMID 表示が消えない場合は、消えるまでお待ちください。

■ RF

WARNING ランプ	1 秒間に 4 回点滅します。(記録中)
タリーランプ	1 秒間に 4 回点滅します。(記録中)
ビューファインダー	RF 表示が点滅します。(記録中)
警告内容	ビデオヘッドの目詰まりです。記録系に異常があります。
VTR 部の動作	クリーニングローラーが作動し、ヘッドをクリーニングします。(最大 3 秒間) 記録を継続しますが、正しく記録できない場合があります。 警告表示は、REC/PAUSE 状態まで保持します。REC/PAUSE からモードが移行した時点で消灯します。
対 策	ヘッドクリーニングをします。 クリーニング後も正しく記録できない場合は、電源を切り、最寄りのサービスセンターにご相談ください。

■ TAPE NEAR END

WARNING ランプ	1 秒間に 1 回点滅します。(記録中)
タリーランプ	1 秒間に 1 回点滅します。(記録中)
ビューファインダー	<ul style="list-style-type: none"> テープ残量表示が点滅します。(EE モード時)  がテープエンドの 1 分前に 3 秒間点滅します。
警告内容	テープの終端間近(残り 2 分)です。
VTR 部の動作	動作を継続します。
対 策	必要に応じて、カセットテープを交換します。

警告システム

■ TAPE END

WARNING ランプ	点灯します。(停止中とスタンバイオフ時)
タリーランプ	1秒間に4回点滅します。(停止中とスタンバイオフ時)
ビューファインダー	END が点灯し TAPE END 表示が点滅します。(停止中とスタンバイオフ時)
警告内容	テープの終端です。
VTR部の動作	記録、再生、早送り中は、動作を停止します。
対 策	テープを巻き戻します。 または、カセットテープを交換します。

■ BATTERY NEAR END

WARNING ランプ	1秒間に1回点滅します。
タリーランプ	1秒間に1回点滅します。
ビューファインダー	BATT NEAR END 表示が点滅します。
警告内容	バッテリーの消耗間近です。
VTR部の動作	動作を継続します。
対 策	必要に応じて、バッテリーを交換します。

■ BATTERY END

WARNING ランプ	点灯します。
タリーランプ	1秒間に1回点滅します。
ビューファインダー	BATT END 表示が点滅します。
警告内容	バッテリーの消耗です。
VTR部の動作	全ての動作を停止して、テープをアンロードします。 カセットテープのイジェクト動作のみを受け付けます。
対 策	バッテリーを交換します。

< ノート >

WARNING ランプ、タリーランプビューファインダー内警告の優先順位は以下の通りになっていて、同時に複数のエラーが起こった場合、順位が上のものが表示されます。

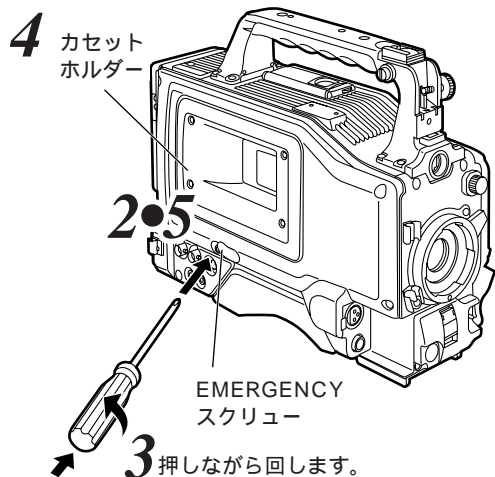
1. SLACK
2. BATTERY END
3. REC WARNING
4. TAPE END
5. HUMID
6. SERVO
7. RF
8. BATTERY NEAR END
9. TAPE NEAR END

EMERGENCY イジェクト

EJECT ボタンを押してもカセットを取り出せないときは、ドライバー等で EMERGENCY スクリューを押しながら回すと、カセットを取り出すことができます。

- 1 電源を「OFF」にします。
- 2 図のようにゴムキャップを外し、プラスドライバーを EMERGENCY スクリュー（赤色）の十字部に挿入します。

- 1 電源を「OFF」にします。



- 3 ドライバーを押しながら、テープがイジェクトするまで EMERGENCY スクリューを反時計方向に回転させます。
 - 回し始めてからアンローディングを開始するまで、約 20 回転必要です。
 - 回し始めてからテープがイジェクトするまで、約 90 回転必要です。

- 4 カセットを取り出します。

- 5 ゴムキャップを元に戻します。

< ノート >

- 緊急以外はこの EMERGENCY スクリューを回さないようにしてください。
- スクリューは時計方向に回さないでください。また、テープがイジェクトした後はそれ以上回転させないでください。メカニズム部を破損させるおそれがあります。
- テープがイジェクトした後は、カセットホルダーを閉めてもロックしません。必ず電源を再投入し、メカニクスの動作をリセットさせてから、カセットホルダーを閉めてください。
- EMERGENCY スクリューを回す際、クリック（カチカチ）音がしますが、リール駆動の動作音であり、異常ではありません。

メンテナンス

結露

本機を冷たい場所から暖かい場所に移したり、湿気の多い場所で使用すると、空気中に含まれる水蒸気が、ヘッドドラムに水滴となって付着することがあります。これを「結露」と言い、このような状態のときにテープを走行させると、テープがドラムに貼り付きやすくなります。

次のような点にご注意ください。

- 結露の可能性のある状況で本機を起動するときは、テープを取り出しておいてください。
- テープを入れる前に、電源スイッチを「ON」にして、ビューファインダー内に HUMID 表示が点灯していないことを確認してください。

< ノート >

結露検出解除後も安全のため、80 分間 HUMID を点滅表示させて、ドラムを回転させます。

この間は、操作ボタンを受け付けません。

バックアップ電池の交換

バックアップ用電池は、すでに取り付けた状態で出荷しています。

バックアップ用電池が消耗すると電源スイッチを入れたとき、ビューファインダー内に「BACKUP BATTERY EMPTY」が 5 秒間表示されます。

販売店にご相談のうえ、新しいバックアップ用電池 (CR2032) と交換してください。電池交換の際には、バックアップ電池の蓋は「パチン」と音がするまで確実に押し込み固定してください。電池の位置に関しては「各部の名称と機能」(10 ~ 11 ページ) をご覧ください。

エラーコード

何らかの原因で本機にエラーが発生したときには、ビューファインダー内に右図で示したエラーコードを表示します。

ヘッドクリーニング

ヘッドクリーニングが必要な場合には、クリーニングカセット AY-DVCL をお使いください。

使用方法を誤りますとビデオヘッドを傷めることもありますので、ご使用の際は、クリーニングテープの取扱説明書をお読みください。

ビューファインダー内のクリーニング

- 汚れを取るとき、シンナーなどの溶剤を使用しないでください。
- レンズを拭くときは、市販のレンズクリーナーを使用してください。
- ミラーは絶対拭かないでください。
ゴミなどが付着しているときは、市販のエアブローアで取り除いてください。

CCD カメラ特有の現象について

スミア

高輝度の被写体を撮影した場合に発生することがあります。

この現象は、電子シャッタースピードが速くなるほど発生しやすくなります。

コード No.	内容
04	ピンチソレノイド、あるいはリールブレーキソレノイド異常
08	クリーニングソレノイド異常
0B	供給リールの異常
0C	巻き取りリールの異常
0D	キャプスタン異常
0E	シリンダーの異常
0F	ローディング異常
3F	サーボ基準信号異常

アフターサービス

アフターサービスについて

1. 保証書...内容のご確認と保存のお願い
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入を確かめて、お買い上げの販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。
2. 保証期間...お買い上げ日から1年間
取扱説明書および本体貼付ラベル等の注意事項に従った正常なご使用状態で、保証期間内に万一故障を生じた場合には、保証書記載事項に基づき、販売店で「無料修理」させていただきます。保証期間内でも次の場合には、原則として有料にさせていただきます。
 - (イ) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
 - (ロ) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変および公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障および損傷
 - (ニ) その他指定外の使用条件で使用された場合に生じた故障および損傷
 - (ホ) 他の接続機器および接続部材に起因して生じた故障および損傷
 - (ハ) 別に指定する* 磨耗性の部品、あるいは付属品の故障および損傷
3. 補修用性能部品の最低保有期間
本機の補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。
4. 修理を依頼される前に
この取扱説明書をよくお読みのうえ点検していただき、なお異常があるときは、必ず電源スイッチをOFFにしてから、販売店にお申しつけください。
5. ご転居・定期保守サービス等ご不明な点は、お買い上げの販売店にご相談ください。

* 磨耗性の部品とは、下記部品類です。

- | | |
|-----------|----------|
| ● ビデオヘッド | ● ゴムプリー類 |
| ● ピンチローラー | ● ローラー類 |
| ● 各種ブレーキ | ● ヘッド類 |
| ● モーター類 | |

定期保守のおすすめ

ビデオは

- 複雑なメカニズムで構成されており、ローラー、ヘッドなどが数多く使用されています。
- これら部品は、使用時間が経過するにつれて磨耗劣化し、故障の原因となります。
- また、ホコリ、ゴミなども安定した機能を妨げ、トラブル発生の原因となります。

このため、単に将来の故障発生時に行うアフターサービスにとどまらず、総合的なサービス、即ちビデオシステムの機能を正常に維持させ、消耗部品などによる突発的な故障を未然に防ぐために、保守サービス（メンテナンス）を定期的に行うことが非常に大切であるといえます。定期保守サービス（有料扱い）については、お買い上げの販売店にご相談ください。

定 格

【総合】

電源：	DC 12V (11.0 V ~ 17.0 V)
消費電力：	17 W

 は安全項目です。

動作温度： 0°C ~ + 40°C
保存温度： - 20°C ~ + 60°C
動作湿度： 85 %以下 (相対湿度)
連続動作時間： 約 120 分 (アントントリムパ
ック 14 使用時、連続 REC 時間)
外形寸法： 123 (幅) × 190 (高さ：ハンド
ル含まず) × 292 (奥行) mm
重量： 約 3 kg (本体のみ)

【カメラ部】

映像素子： 1/2 インチ、IT 型 CCD (41 万
画素)
方式： RGB 3CCD 方式
総画素数： 811H × 508V
有効画素数： 768H × 494V
分光系： F1.4 プリズム方式
内蔵フィルター： 1 : 3200K (CLEAR)
2 : 5600K+1/8ND
3 : 5600K
4 : 5600K+1/64ND
量子化： 10 ビット非線形
サンプリング周波数： 14.31818MHz (4 fsc)
デジタル信号処理： 28.63636MHz (8 fsc)
水平駆動周波数： 28.63636MHz (8 fsc)
プログラマブルゲイン： 0dB/3dB/6dB/9dB/12dB/
15dB/18dB/21dB/24dB/
30dB/36dB より 3 ポジション
を設定可能 (L/M/H)
シャッタースピード： プリセット： 1/100、1/120、
1/250、1/500、
1/1000、1/2000
バリアブル： 1/60.3 ~ 1/250.0
レンズマウント： パヨネット型
感度： F11 (2000 ルックス)
最低被写体照度： 0.5 ルックス (F1.4、+ 36 dB 時)
映像 S/N： 62 dB (標準)
水平解像度： 800 本 (中心)
(CAM OUT 端子)
レジストレーション： 0.05 %以下 (全域、レンズ歪み
を除く)
幾何学的歪み： 測定限界値以下 (レンズ歪みを
除く)

【VTR 部】

映像系
記録フォーマット： DV フォーマット
サンプリング周波数： Y : 13.5 MHz
PB/PR : 3.375 MHz
量子化： 8 ビット
音声系
記録フォーマット： デジタル PCM ステレオ記録
16 ビット (48 kHz/2 ch)
12 ビット (32 kHz/2 ch)
周波数特性： 20 Hz ~ 20 kHz (48 kHz 時)
テープ走行系
テープフォーマット： DV 標準カセット
テープスピード： 18.812 mm/s
最大記録時間： 270 分

【コネクター部】

入力

AUDIO IN CH1/CH2 (XLR × 2、3 ピン)：
LINE/MIC/MIC + 48 V 切り換え方式
LINE : - 6/0/+4 dBu のメニュー選択
MIC : - 40/- 50/- 60 dBu のメニュー選択
MIC + 48V: ファントム + 48V 対応
MIC IN (XLR、3 ピン)：
MIC/MIC + 48 V 切り換え方式
MIC : - 40/- 50/- 60 dBu のメニュー選択
MIC + 48V: ファントム + 48V 対応 (メニュー選択)
GEN LOCK IN (BNC)： 1.0 VP-P、75

出力

CAMERA OUT (BNC)： 1.0 VP-P、75
VIDEO OUT (BNC)： 1.0 VP-P、75
S-VIDEO OUT (S 端子)： Y 信号： 1.0 VP-P、75
C 信号： 0.286 VP-P、75
AUDIO OUT CH1/CH2 (RCA × 2)：
- 6 dBu ローインピーダンス、不平衡
PHONE OUT (ステレオミニジャック)：
- 30 dBu ~ - 80 dBu

その他

DV 1394 (4 ピン)： IEEE1394 入出力
DC IN (XLR、4 ピン、オス)：
DC 12 V (DC 11 V ~ 17 V)
DC OUT (4 ピン)：
DC 12 V (DC 11 V ~ 17 V)、最大 1A (DC 7 V、
最大 1A も出力可)
LENS (マルチ 12 ピン)
EVF (マルチ 20 ピン)

定 格

【ビューファインダー】

(別売品 AJ-VF10)

ブラウン管

1.5 インチ 高解像度モノクローム管

映像方式

525 本、59.94 フィールド

外部調整器

コントロールつまみ：

BRIGHT、CONTRAST、PEAKING

スイッチ：

TALLY HIGH/OFF/LOW、ZEBRA ON/OFF

【付属品】

- SONY 社対応バッテリー端子 (ビス含む)
- Anton/Bauer 社製用バッテリーホルダー (本体に装着済み)
- マイクロホン
- 三脚プレート

【関連機器】

電源関連

バッテリーパック AU-BP402、AJ-BP490

バッテリーチャージャ

AG-B425 (バッテリーパック AU-BP402 充電用)

AJ-B450 (バッテリーパック AU-BP402、AJ-BP490 充電用)

バッテリーケース AU-M402H

AC アダプタ AJ-B75

オーディオ機器

マイクロホンキット AJ-MC700P

マイクホルダー AJ-MH700P

ワイヤレスマイク受信機 WX-RJ700

カメラアタッチメント WX-ZJ770

オーディオ機器

クリーニングテープ AY-DVCL

ソフトキャリングケース AJ-SC900

レインカバー SHAN-RC700

ショルダーベルト VFC2588 (サービス部品)

松下電器産業株式会社 AVC 社 システム事業グループ

〒571-8503 大阪府門真市松葉町 2 番 15 号 ☎(06) 6901 - 1161